

木場瀉公園東園地里山資源再生ハウス（仮称）建設工事（建築）

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	[建築]				
A-00	表紙・図面リスト				
A-01	木造建築工事仕様書 その1	A-21	建具キープラン	S-01	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [1]
A-02	木造建築工事仕様書 その2	A-22	建具リスト①	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [2]
A-03	木造建築工事仕様書 その3	A-23	建具リスト②	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [3]
A-04	木造建築工事仕様書 その4	A-24	部分詳細図 (1)	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [4]
A-05	木造建築工事仕様書 その5	A-25	部分詳細図 (2)	S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [5]
A-06	求積図・面積表	A-26	部分詳細図 (3)	S-06	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [6]
A-07	仕上表	A-27	家具キープラン・リスト	S-07	A T A 標準図1
A-08	平面図	A-28	サイン図	S-08	A T A 標準図2
A-09	立面図	A-29	全体配置図	S-09	A T A 標準図3
A-10	断面図			S-10	基礎伏図
A-11	屋根伏図			S-11	土台伏図
A-12	天井伏図①			S-12	小屋伏図
A-13	天井伏図②			S-13	母屋伏図
A-14	矩計図①			S-14	軸組図1
A-15	矩計図②			S-15	軸組図2
A-16	矩計図③			S-16	軸組図3
A-17	平面詳細図			S-17	軸組図4
A-18	展開図①			S-18	軸組図5
A-19	展開図②			S-19	壁量計算
A-20	展開図③			S-20	N値計算

Y&E 山岸建築設計事務所

質問のある者は
指定日時までに営繕課へ提出する事。
現地説明無し。

監 修		石川県土木部営繕課			
		年 月 日			
課 長	担当課長	課 参 事	課長補佐	GL	担 当

木造建築工事仕様書

I 工事概要

- 1 工事場所 小松市 三谷町 地内
2 工事内容 (1) 本体外工 (種別、棟別、構造、階、面積)
新築、里山資源再生ハウス、木造、平屋建て、延床面積221.53m2
(2) 屋外付帯工事
(3) 電気設備工事
(4) 給排水衛生設備工事
(5) 解体工事

- 3 完成期日 令和4年12月15日
4 別契約関連工事
(1) 屋外付帯工事
(2) 電気設備工事
(3) 暖房設備工事
(4) 換気設備工事
(5) 昇降機設備工事
(6) 浄化槽設備工事

II 建築工事仕様

- 1 共通仕様
1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築木造工事標準仕様書 平成31年版」(以下「木標仕」という。)及び「公共建築工事標準仕様書 平成31年版」(以下「標仕」という。)による。
2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
2 特記仕様
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「木標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 特記事項に記載の【 】内表示番号は、「標仕」(建築工事編)の当該項目、当該図又は当該表を示し、【別図 ()】内表示番号は、「標仕」の参考資料 各部配筋参考図を示す。
5) 【G】印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(グリーン購入法)の特定調達品目を示す。
6) 製造所又は五十音順とし「株式会社等」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。
7) 斜線で消去した章は適用しない。

1章 一般共通事項

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Contains sections for 適用基準等, 工事実績情報の登録, 発生材の処理, 電気保安技術者, 施工条件, 建築材料等.

7 特別な材料の工法
8 技能士等

Table with 2 columns: 適用工事種別, 技能検定作業. Lists various construction tasks like 仮設工事, 鉄筋工事, 鉄骨工事, etc.

9 完成図等

「石川の伝統的建造技術を伝える会」のうち、金沢公園整備工事従事者の認定を受けた者。
※作成する (1.7.1~1.7.3) (表1.7.1)
イ) 工事完成図は、製本1部、A3版製本2部提出する。
ロ) CD-R又はDVD-Rに、CADで設計したものはCADデータ、手書きの場合はラスターデータとして記録し1部提出する。
また、本仕様書の「第1章2.9電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。
※ラスターデータ：画像データでTIFF形式、原図大で300dpi密度以上とする。
・作成しない
屋外付帯工事実測図 ※提出する(1部) ※提出しない
建物保全説明書 ※提出する(1部) ※提出しない
安全に関する説明書のうち建物利用に関する説明書は、「管理者のための建築物保全の手引き(改訂版)」「(財)建物保全センター」に建物構造、機軸、保全業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。
なお、別契約の関連する設備工事等がある場合は、連携の上作成する。

10 工事写真等の記録

1) 工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領(平成31年版)(国土交通大臣官房官庁営繕部)により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第1章2.9電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。
各区分の写真は、A4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。
※写真帳
区分 分類 規格 撮影枚数 部数
着工前 ※カラー ※サービス版 ※10景以上 ※1部
工事中 ※カラー ※サービス版 ※1部
完成時 ※カラー ※キャビネ版 ※10景以上 ※1部

11 責任施工

特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下請人の連帯責任とし、保証書を提出する。
工事の進捗度表、作業員の出席報告、工事箇所図及び工事現場写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末毎に提出する。
1) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。
2) 設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所数等は下記による。
位置、大きさ、箇所数等
位置/大きさ 100mm 125mm 150mm 175mm 200mm
補強筋箇所数 梁 壁 床

12 責任施工

12 責任施工
13 設備工事との取合い

14 設計G L

Table with 2 columns: 設計G L, 工事現場の掲示板. Contains design specifications and site display board requirements.

15 設計G L

Table with 2 columns: 設計G L, 工事現場の掲示板. Contains design specifications and site display board requirements.

17 総合評価時における技術提案

「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。
※型枠の組立 ・木造組組建方 その他監督員の指示するもの
請負契約約款第1.4条第2項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。
※杭打ち ・コンクリートスラブ及び打込み ・屋根葺き その他監督員の指示するもの。
中間検査の実施 ※有 ・無
実施時期 ※躯体(軸組)工事完了時
・受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力しなければならない。また、工期経過後においても同様とする。
1) 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
2) 調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
3) 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
4) 対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者(当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。)が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
・本工事が「建設副産物実態調査」の対象である場合、工事完了後速やかに調査票を作成し、監督員に提出しなければならない。
工事目的物、工事材料等に生ずる損害を補償する保険は、下記による。
※建設工事保険又は組立保険(工事対象物を全て解体する工事を除く。)
加入期間 引渡しまで(引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで)
室内空気汚染対策
室内空気汚染対策の実施 ※実施する ・実施しない
1) 測定の有無等
測定する場合は、下記の揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。
イ) 測定の有無 ※有 ・無
ロ) 測定対象室
測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。
改修工事については、内装改修等を行った居室について測定を行う。
ハ) 1室当たりの測定箇所数
室の床面積 A (㎡) A ≤ 50 50 < A ≤ 200 200 < A ≤ 500 500 < A
測定箇所数 1 2 3 4
全ての測定箇所において、二)の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。

18 施工の検査等

18 施工の検査等
19 施工の立会い

20 中間検査

20 中間検査
21 公共事業労務費調査等に対する協力

22 保険

22 保険
23 室内空気汚染対策

23 室内空気汚染対策

Table with 2 columns: 室内空気汚染対策, 測定箇所数. Contains air quality measurement specifications and table for room area vs. number of measurement points.

24 名札の着帯

名札の着帯
現場代理人及び主任(監理)技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。(ただし、請負額1,000万円以上の工事)
(注意事項)
①名札として使用する用紙(台紙)は白色、寸法は上図(名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm)のとりとする。
②顔写真(カラー写真)の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。
③ケースの寸法は上記①の用紙(台紙)が入る大きさとする。
25 施工体制台帳の作成等
建設業法第24条の7に該当する施工体制台帳の作成が必要な工事は、当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公共が見やすい場所に掲げておくこと。
26 排出ガス対策型建設機械
次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。
1) バックホウ
2) トラクターショベル
3) 発動発電機
4) 空気圧縮機
5) ローラ類
6) ホイールクレーン
27 創意工夫等
工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することとする。
28 保険の付与及び事故の補償
1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。
2) 受注者は、雇用者等の業務に關して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。
3) 受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結1ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。

25 施工体制台帳の作成等

25 施工体制台帳の作成等
26 排出ガス対策型建設機械

27 創意工夫等

27 創意工夫等
28 保険の付与及び事故の補償

28 保険の付与及び事故の補償

Table with 3 columns: 工事名, 図面名, 設計. Contains project details like 木造建築工事仕様書 その1 and design information for 石川県土木部営繕課.

29	電子納品	※行う（「電子納品仕様書」による。） 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書電子データを納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 <table border="1"><tr><th>名 称</th></tr><tr><td>営繕工事電子納品要領（令和元年版）</td></tr><tr><td>官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和元年版）</td></tr></table> 基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html 2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R、DVD-R又はBR-Dで1部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 4 発注者が行うCAS/EC電子納品に関する調査について協力を行うものとする。	名 称	営繕工事電子納品要領（令和元年版）	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和元年版）	・行わない
名 称						
営繕工事電子納品要領（令和元年版）						
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和元年版）						
30	騒音振動の防止	低騒音（G）	・振動型建設機械を使用する。			
31	隣接建物又は工作物の調査	※行う	・行わない			
32	敷地の状況確認	着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がなく関係機関の協力を得て確認し、報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。				
33	ダンプトラック等による過積載等の防止					
34	景観への配慮	・当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。				

2 章 仮 設 工 事																					
項 目	特 記 事 項																				
1	監督職員事務所 ※設ける 監督職員事務所の規模（単位：㎡） <table border="1"><tr><th>種別号</th><th>1号</th><th>2号</th><th>3号</th><th>4号</th><th>5号</th></tr><tr><th>面積程度</th><td>10程度</td><td>20程度</td><td>35程度</td><td>65程度</td><td>100程度</td></tr></table> 監督職員事務所に設ける備品等 ※保護帽 ※安全带 ※長靴 ※合羽 ※原図大及びA3縮小の設計図製本各2部 ※机 ※椅子 ※懐中電灯 ・書棚 ・黒板 ・寒暖計 ・ 快通トイレ（快通トイレ実施要領に基づく） ※監督員へ提案・協議し、快通トイレを設置することができる。快通トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快通トイレ実施要領」により費用を計上する。 3 工事用水 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償） 4 工事用電力 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償） 5 指定仮設 指定仮設の適用 ・仮囲い ・敷鉄板（※図示） 仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承諾を受ける。 イ）材料 ・鋼板 ・垂鉛波形鉄板 ハ）塗装 ・する ・しない ロ）高さ ・1.8m ・2m ・3m ニ）延長 m 6 工事用道路 7 足場 1）足場の種類 ※枠組本足場（手すり先行足場） ・くさび緊結式足場（手すり先行足場） 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の2）手すり設置方式又は3）手すり先行専用足場方式により行うこと。 2）建枠・布枠 <table border="1"><tr><th>建 枠</th><th>・1. 200枠</th><th>・900枠</th><th>・600枠</th></tr><tr><th>布 枠</th><td>500布枠×2枚</td><td>※500×240布枠</td><td>500布枠×1枚</td></tr></table> 3）防護シート等による養生 ※設置する ※ネット状養生シート又は養生シート ・設置しない ・防音パネル なお、出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける 8 危険物貯蔵所 シンナー等有機溶剤を使用する場合は、特に火災及び盗難について管理を徹底する。（2.3.2）	種別号	1号	2号	3号	4号	5号	面積程度	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	建 枠	・1. 200枠	・900枠	・600枠	布 枠	500布枠×2枚	※500×240布枠	500布枠×1枚
種別号	1号	2号	3号	4号	5号																
面積程度	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																
建 枠	・1. 200枠	・900枠	・600枠																		
布 枠	500布枠×2枚	※500×240布枠	500布枠×1枚																		
3 章 土 ・ 地 業 ・ 基 礎 工 事																					
項 目	特 記 事 項																				
1	埋戻し及び盛土 埋戻し及び盛土 種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G																				

2	建設発生土の処理 ・現場内で処理 ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷き均し ・構外搬出適正処理（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと） ・指定（想定）排出先 受入場所： 受入時間帯： 時 分～ 時 分 仮置き等： ・自由処分（「建設発生土情報交換システム」等を活用する）	[3.2.5]																		
3	地盤改良	工法 *図示																		
4	六価クロム溶出試験 （1）「六価クロム溶出試験」の対象工の有無 ・有 ・無 （2）本工事が「六価クロム溶出試験」の対象工事である場合は、下記の要領で「六価クロム溶出試験」を実施し、厚生労働省の定める指針値（0.05mg/l）以下であることを確認し、試験結果（計量証明書）を提出すること。 参照：「セメント及びびメント系固着化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領（案）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課ほか H13.4.20改正） 1）「六価クロム溶出試験」対象工種名及び検体数 イ） 工 工法 検体 配合設計段階 検体 ・施工後段階 検体 ロ） 工 工法 検体 配合設計段階 検体 ・施工後段階 検体 2）タンクリーニング試験対象工種名及び検体 イ） 工 工法 検体 ロ） 工 工法 検体	[4.3.2]																		
5	既製コンクリート杭地業 1）種類 ※遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 <table border="1"><tr><th></th><th>杭径 (mm)</th><th>杭長 (m) 及び種別</th><th>継手数</th><th>セット数</th><th>備考</th></tr><tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>本 杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> イ） 杭頭の処理 ※切断しない ロ） 先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 ハ） 杭の継手 ・アーク溶接 ・無溶接継手		杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考	試験杭						本 杭						[4.3.1] [4.3.2] [4.3.3] [4.3.6]
	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考															
試験杭																				
本 杭																				
6	砂利及び砂地業 厚さ ※60mm 砂利地業 ※再生クランシャラン G	・ 図示	[4.6.3]																	
7	捨てコンクリート地業 厚さ ※50mm	・ 図示	[4.6.4]																	
8	床下防湿層	範囲 *図示	[4.6.5]																	
9	鉄筋等 鉄筋の種類 ※SD295A ・SD345 鉄筋の継手 ※重ね継手 基礎梁のあばら筋の径及び間隔 ※図示 ・径 mm 間隔 mm 基礎柱型部の帯筋の径及び間隔 ※図示 ・径 mm 間隔 mm 土間コンクリートの補強筋 ※縦横ともD10-200@シングル ・図示 梁の貫通孔の位置、径、補強方法等 ※H形 ・MH形 ・M形 ・図示	[5.2.1] [別図7.1] [別図7.2表7.1～表7.3]																		
10	コンクリート 設計基準強度 ※21N/mm2 レディーミクストコンクリートの種類 ※I類 ・II類 JIS表示認定工場として、改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認定を受けた（JISマーク表示認証工場）を含む。 コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容差 *標仕【表6.2.3】による 構造体強度補正值の決定に用いる「予想平均気温θ」は、気象庁気象台発表の過去の平均値より決定する。 [6.3.2] 【監理指針 表6.11.2】 セメント及び混和材料の種類 *普通ポルトランドセメント又は混合セメント A種 *A E剤、A E減水剤及び高性能A E減水剤（JIS A 6204） スリーブに用いる材料 *硬質ポリ塩化ビニル管又は紙チューブ [6.8.2] 1）型枠（せき板）の種別 塗装の有無 ※無 ・有 2）打放し仕上げの種類 ・A種 ・B種 ・C種 [表6.2.4] 適用箇所 ※捨コンクリート ・図示 [6.14.1～3] 設計基準強度 ※18N/mm2 スランブ ・15 ・18 基礎の構造等 *図示 (3.4.2)	[6.2.2] [6.8.2] [表6.2.4] [6.14.1～3] (3.4.2)																		

4 章 木 造 工 事		
項 目	特 記 事 項	
1	材料 使用する材料は、図示及び特記による指定並びに木種仕各章の規定による。（4.1.1） ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第3種	(4.1.1) (4.2.1)
2	防蟻・防蟻処理 適用部材及び処理の種類 ・処理しない（部材・部位） ・薬剤の加圧注入（部材・部位） （保形処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4） ・薬剤の塗布等（部材・部位 外周QL+1.0mまで）	(4.2.1)
3	地盤の土壌の防蟻処理 地盤の土壌への薬剤による防蟻処理 ・行う ・行わない 施工範囲 *図示 使用薬剤（ ）、使用量（ ）	(4.2.3)
4	防蟻処理 1）土台底及び柱底がモルタル及びコンクリートと取合う場合 ※（材料名： ）で縁を切り、「木種仕4.2.1」による木材の防蟻処理を行う。 2）床下換気 基礎の外周部の換気孔の種別 ○ねこ土台（基礎パッキン） ・換気孔 3）小屋裏換気 *図示	(4.2.4) (4.2.4) (4.2.4)
5	県産材使用証明 G 設計図書において、県産材の使用が明記されている場合は、工事受注者（資材の発注者）は、合法木材供給事業者の認定を受けた納品者が発行する「県産材産地及び合法木材証明書」及び「納品書」（合法木材団体認定番号及び産地名（石川県）と明記されたもの）を監督員に提出するものとする。	

5 章 軸 組 構 法（壁構造系）工 事		
項 目	特 記 事 項	
1	適用範囲 *この章は、建築基準法施行令第46条第4項の壁量を満たす建築物に適用する。（5.1.1） 構造材及び下張材の現場搬入時の含水率 ※20%以下 （5.2.2） 部材ごとの樹種（・使用箇所、樹種、及び品質は下表による ・各詳細図による）	(5.1.1) (5.2.2)
2	木材等 使用箇所 構造材の樹種 目視等級区分 ○土台（火打土台を含む） ・ 桧・米松・ヒバ ・ 能登ヒバ（クサアテ除く） ・ 栗 ・ 加圧式保存処理土台 ・ 加圧式防蟻処理土台 ○柱類（通柱） ・ 杉・松・米松・ヒバ ・ 能登ヒバ・米松 ・ 乙種一級 ・ 乙種二級 ・ 乙種三級 ○桁類（敷桁・軒桁・間仕切桁） ・ 米松○杉・赤松・黒松 ・ 唐松・米松○米松 ・ 能登ヒバ ・ 甲二一級 ・ 甲二二級 ・ 甲二三級 ○貫 ・ 米松・杉・赤松・黒松 ・ 桧・唐松・能登ヒバ ・ 甲一級 ・ 甲二級 ・ 甲三級 ○間柱・窓まぐさ・窓台 ・ 杉・米松・米松 ・ 桧・松 ・ 能登ヒバ ・ 乙種一級 ・ 乙種二級 ・ 乙種三級 ・ 小屋梁類（丸太） ・ 赤松・黒松・米松 ・ 唐松 ・ 能登ヒバ ・ 甲二一級 ・ 甲二二級 ・ 甲二三級 ・ 小屋梁類（挽き角） ・ 赤松・黒松○米松○杉 ・ 米松・唐松 ・ 能登ヒバ ・ 甲二一級 ・ 甲二二級 ・ 甲二三級 ○小屋束・火打梁 ○杉○米松・米松・桧 ・ 桧・松 ・ 能登ヒバ ・ 乙種一級 ・ 乙種二級 ・ 乙種三級 ○筋交い類・振止め ・ 杉○米松・米松・唐松 ・ 桧・松 ・ 能登ヒバ ・ 甲二一級 ・ 甲二二級 ・ 甲二三級 ・ 真東小屋組材・寄棟小屋組材 ・ 杉○米松・米松・唐松 ・ 桧・松 ・ 能登ヒバ ・ 甲二一級 ・ 甲二二級 ・ 甲二三級 ・ 振止め・火打梁 ○米松○杉 ・ 甲二一級 ・ 甲二二級 ・ 甲二三級 ・ 棟木・母屋・隅木・谷木 ○杉・米松・桧 ・ 唐松・能登ヒバ・桧 ・ 甲二一級 ・ 甲二二級 ・ 甲二三級 ○垂木・垂木掛 ・ 杉・米松・桧 ・ 唐松・杉・桧 ・ 能登ヒバ ・ 甲二一級 ・ 甲二二級 ・ 甲二三級 ・ 甲一級 ・ 甲二級 ・ 甲三級 ・ 乙種一級 ・ 乙種二級 ・ 乙種三級 ・ 構造材の継手添板 ・ せん・くさび・だぼ類 ○屋根野地板等（鼻隠・破風板 ○米ひば ・ 甲一級 ・ 甲二級 ・ 甲三級 ・ 乙種一級 ・ 乙種二級 ・ 乙種三級	(5.1.1) (5.2.2)
3	その他 以下の材は、各章適用 集成材、構造用単板積層材→「6章軸組構法（軸構造系）工事」適用 枠組壁工法構造用製材、枠組壁工法構造用たて継ぎ材→「7章枠組壁工法工事」適用 丸太材→「8章丸太組構法工事」適用 直交集成材→「9章CLTパネル工法工事」適用 能登ヒバ、杉、は県産材とし代用樹種は認めない。 構造用面材は、次のものを適用する。（5.2.3） ・ 構造用パーティクルボード（JIS A5908）（材厚： ）（仕様： ） ・ 構造用3F（7F）パーティクルボード（JIS A5905）（材厚： ）（仕様： ） ・ 構造用合板（合板の日本農林規格）（材厚：12mm,24mm）（仕様：種類、24mmは能登ひば合板） ・ 化粧ばり構造用合板（合板の日本農林規格）（材厚： ）（仕様： ） ・ 構造用パネル（JAS360号）（材厚： ）（等級： ） ・ パーティクルボード（JIS A5908）（材厚： ）（仕様： ） ・ ハードファイバーボード（JIS A5905）（材厚： ）（仕様： ） ・ 硬質木片セメント板（JIS A5404）（材厚： ） ・ パルプセメント板（JIS A5414）（材厚： ）（種類： ） ・ 構造用せっこうボード（JIS A6901）（A種 ・B種）（材厚： ） ・ せっこうボード（JIS A6901）（材厚： ） ・ 強化せっこうボード（JIS A6901）（材厚： ） ・ せっこうスラブボード（JIS A6901）（材厚： ） ・ シーシングボード（JIS A5905）（材厚： ） ・ ラスシート（JIS A5524） ・ 構造用単板積層材（単板積層材の日本農林規格）（仕様： ）	(5.2.3)

6 章 軸 組 構 法（軸構造系）工 事		
項 目	特 記 事 項	
1	適用範囲 *この章は、建築基準法施行令第46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する。（6.1.1） ○構造用集成材 *図示（部材リスト）による（6.2.2） ・ JAS11152号「集成材の日本農林規格」第5条「構造用集成材」の規格による。 （樹種： ）、（寸法：短辺 長辺 材長） （強度等級： ）（材面の品質：1種 ○2種 ・3種） （接着性能：・使用環境A ・使用環境B ・使用環境C） ・ 化粧ばり構造用集成材 ・ JAS1152号「集成材の日本農林規格」第6条「化粧ばり構造用集成材」の規格による。 （樹種：・化粧薄板） ・芯材 （寸法：短辺 長辺 材長、化粧薄板の厚さ） ・ 構造用単板積層材 ・ JAS701号「単板積層材の日本農林規格」第4条「構造用単板積層材」の規格による。 （等級：・特級 ・1級 ・2級） （接着性能：・使用環境A ・使用環境B ・使用環境C） （樹種：・化粧薄板） ・芯材 （寸法：短辺 長辺 材長、化粧薄板の厚さ） （曲げヤング係数区分： E） その他 以下の材は、各章適用 製材→「5章軸組構法（壁構造系）工事」適用 Zマーク表示金物 ・ Zマーク表示金物 ・ Cマーク表示金物 ・ Dマーク表示金物 ・ Sマーク表示金物 ・ 上記以外（仕様： ） ・ アンカーボルトの埋込み ・ アンカーボルトの埋込み深さ（ mm） ・ アンカーボルトの埋込み工法（・A種 ・B種） （表6.5.1） *各金物の使用ヶ所及び種別は図示による。	(6.1.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.5.1)
2	集成材等 G *この章は、建築基準法施行令第46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する。（6.1.1） ○構造用集成材 *図示（部材リスト）による（6.2.2） ・ JAS11152号「集成材の日本農林規格」第5条「構造用集成材」の規格による。 （樹種： ）、（寸法：短辺 長辺 材長） （強度等級： ）（材面の品質：1種 ○2種 ・3種） （接着性能：・使用環境A ・使用環境B ・使用環境C） ・ 化粧ばり構造用集成材 ・ JAS1152号「集成材の日本農林規格」第6条「化粧ばり構造用集成材」の規格による。 （樹種：・化粧薄板） ・芯材 （寸法：短辺 長辺 材長、化粧薄板の厚さ） ・ 構造用単板積層材 ・ JAS701号「単板積層材の日本農林規格」第4条「構造用単板積層材」の規格による。 （等級：・特級 ・1級 ・2級） （接着性能：・使用環境A ・使用環境B ・使用環境C） （樹種：・化粧薄板） ・芯材 （寸法：短辺 長辺 材長、化粧薄板の厚さ） （曲げヤング係数区分： E） その他 以下の材は、各章適用 製材→「5章軸組構法（壁構造系）工事」適用 Zマーク表示金物 ・ Zマーク表示金物 ・ Cマーク表示金物 ・ Dマーク表示金物 ・ Sマーク表示金物 ・ 上記以外（仕様： ） ・ アンカーボルトの埋込み ・ アンカーボルトの埋込み深さ（ mm） ・ アンカーボルトの埋込み工法（・A種 ・B種） （表6.5.1） *各金物の使用ヶ所及び種別は図示による。	(6.1.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.5.1)
3	接合金物・接合具等 接合金物の種別 ○Zマーク表示金物 ・ Cマーク表示金物 ・ Dマーク表示金物 ・ Sマーク表示金物 ・ 上記以外（仕様： ） ○アンカーボルトの埋込み ・ アンカーボルトの埋込み深さ（ 250 mm） ・ アンカーボルトの埋込み工法（・A種 ○B種） ○釘及び木ねじの工法 ○図示による （釘の種類： ）（釘打間隔： ） 構造材を仕上材とする場合の釘打仕様 ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭隠し ○各種ボルトの工法 （ボルトの種類：HD用アンカーボルト）（仕様：M16、埋込寸法360mm） ・ ラグスクリューの工法 形状、寸法等 ※図示 ○ドリフトピン工法 ドリフトピン径 ※図示 ・ 木だぼの工法 木だぼ径 ※図示 *各金物の使用ヶ所及び種別は図示による。 4章2防蟻・防蟻処理による。 仕口、継手の工法 原則、仕口・継手はATA聖金物接合とする。（5.3.1）～（5.3.4） （5.4.2） 継手・仕口 部材・部位 ・ 腰掛あり継ぎ ・ 土台 ・ 軒桁 ・ 棟木、母屋 ・ 大引 ・ 腰掛かま継ぎ ・ 土台 ・ 脚差 ・ 軒桁 ・ 床梁 ・ 追掛大柱継ぎ ・ 脚差 ・ 軒桁 ・ 床梁 ・ 台持継ぎ ・ 小屋梁（丸太） ・ 小屋梁 ・ 大入れあり掛け ・ 土台 ・ 小屋梁 ・ 大引 ・ 床梁 ・ 傾ぎ大入れ ・ 火打土台 ・ 火打梁 ・ まぐさ、窓台 ・ 傾ぎ大入れ短ぼぞ差し ・ 脚差 ・ まぐさ、窓台 ・ かぶとあり掛け ・ 小屋梁 ・ 長ぼぞ差し （込み釘打ち ・有 ・無） ・ 柱（・上端 ・下端） ・ 短ぼぞ差し ・ 柱・束（・上端 ・下端） ○大入れ（M12ボルト接合） ○方柱 ○火打梁 ・ 軸組 各部材の断面寸法及び間隔は各詳細図による。 ・ 鋼製土台火打材の使用 ※有 ○無 （5.6.2） 9 屋根野地 屋根野地の種類、規格、厚さ、仕様 ・ ひき板野地板（厚さ、継手、取付け方法） 留付け釘（種類、間隔） ○構造用パネル（JAS360号）（板厚 12mm,24mm）（等級 特級、24mmは能登ひば合板） 12mm 留付け釘（種類 N50、間隔 150mm） 24mm 留付け釘（種類 N75、間隔 150mm） ・ 鋼製火打材の使用 ※有 ○無 （5.7.8）	(5.3.1) (5.3.4) (5.4.2) (5.6.2) (5.7.9) (5.7.8)

6 章 軸 組 構 法（軸構造系）工 事		
項 目	特 記 事 項	
1	適用範囲 *この章は、建築基準法施行令第46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する。（6.1.1） ○構造用集成材 *図示（部材リスト）による（6.2.2） ・ JAS11152号「集成材の日本農林規格」第5条「構造用集成材」の規格による。 （樹種： ）、（寸法：短辺 長辺 材長） （強度等級： ）（材面の品質：1種 ○2種 ・3種） （接着性能：・使用環境A ・使用環境B ・使用環境C） ・ 化粧ばり構造用集成材 ・ JAS1152号「集成材の日本農林規格」第6条「化粧ばり構造用集成材」の規格による。 （樹種：・化粧薄板） ・芯材 （寸法：短辺 長辺 材長、化粧薄板の厚さ） ・ 構造用単板積層材 ・ JAS701号「単板積層材の日本農林規格」第4条「構造用単板積層材」の規格による。 （等級：・特級 ・1級 ・2級） （接着性能：・使用環境A ・使用環境B ・使用環境C） （樹種：・化粧薄板） ・芯材 （寸法：短辺 長辺 材長、化粧薄板の厚さ） （曲げヤング係数区分： E） その他 以下の材は、各章適用 製材→「5章軸組構法（壁構造系）工事」適用 Zマーク表示金物 ・ Zマーク表示金物 ・ Cマーク表示金物 ・ Dマーク表示金物 ・ Sマーク表示金物 ・ 上記以外（仕様： ） ・ アンカーボルトの埋込み ・ アンカーボルトの埋込み深さ（ mm） ・ アンカーボルトの埋込み工法（・A種 ・B種） （表6.5.1） *各金物の使用ヶ所及び種別は図示による。	(6.1.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.5.1)
2	集成材等 G *この章は、建築基準法施行令第46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する。（6.1.1） ○構造用集成材 *図示（部材リスト）による（6.2.2） ・ JAS11152号「集成材の日本農林規格」第5条「構造用集成材」の規格による。 （樹種： ）、（寸法：短辺 長辺 材長） （強度等級： ）（材面の品質：1種 ○2種 ・3種） （接着性能：・使用環境A ・使用環境B ・使用環境C） ・ 化粧ばり構造用集成材 ・ JAS1152号「集成材の日本農林規格」第6条「化粧ばり構造用集成材」の規格による。 （樹種：・化粧薄板） ・芯材 （寸法：短辺 長辺 材長、化粧薄板の厚さ） ・ 構造用単板積層材 ・ JAS701号「単板積層材の日本農林規格」第4条「構造用単板積層材」の規格による。 （等級：・特級 ・1級 ・2級） （接着性能：・使用環境A ・使用環境B ・使用環境C） （樹種：・化粧薄板） ・芯材 （寸法：短辺 長辺 材長、化粧薄板の厚さ） （曲げヤング係数区分： E） その他 以下の材は、各章適用 製材→「5章軸組構法（壁構造系）工事」適用 Zマーク表示金物 ・ Zマーク表示金物 ・ Cマーク表示金物 ・ Dマーク表示金物 ・ Sマーク表示金物 ・ 上記以外（仕様： ） ・ アンカーボルトの埋込み ・ アンカーボルトの埋込み深さ（ mm） ・ アンカーボルトの埋込み工法（・A種 ・B種） （表6.5.1） *各金物の使用ヶ所及び種別は図示による。	(6.1.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.5.1)
3	接合金物・接合具等 接合金物の種別 ○Zマーク表示金物 ・ Cマーク表示金物 ・ Dマーク表示金物 ・ Sマーク表示金物 ・ 上記以外（仕様： ） ○アンカーボルトの埋込み ・ アンカーボルトの埋込み深さ（ mm） ・ アンカーボルトの埋込み工法（・A種 ・B種） （表6.5.1） *各金物の使用ヶ所及び種別は図示による。	(6.2.4) (6.5.1)
設 計 石 川 県 土 木 部 営 繕 課		
工 事 名 木 場 湯 公 園 東 園 地 里 山 資 源 再 生 ハ ウ ス（ 仮 称 ） 建 設 工 事（ 建 築 ）		
図 面 名 木 造 建 築 工 事 仕 様 書 そ の 2		
図 面 番 号 A - O 2		

③	金属板葺	金属板の種類及び厚さ 種類 ※JIS G3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) 厚さ ○0.4mm ・特殊釘の種類、形状、寸法等 () ・特殊釘の間隔 ※葺板1枚につき吊子2枚以上 の工法 釘の間隔 (一般部) ・ (軒先、けらば) ・ 5 心木なし瓦葺 釘の間隔 (一般部) ・ (棟覆い) ・ (軒先) ・ 6 粘土瓦葺 粘土瓦葺の材料等は下記による。 イ) 種類 ※53A型 ロ) 品質 ※JIS A5208 (粘土がわら) ハ) 色あい ・ 銀黒(いぶし色) ・ 黄金 ・ 黒 ・ 銀わずみ(シルバー) ・ 赤 ニ) 産地 ※県内産 ⑦ とい といの材質 ・ 金属板 ・ 鋼板 ○硬質塩化ビニル樹脂 とい、谷といの種類及び板厚等 ※図示 ⑧ 雷止め 硬質塩化ビニル製集水器及びあんこうの形等の指定 ※図示 雷止めの有無 ○設置する ・ 設置しない (14.3.4) (14.3.6) (14.5.2) 雷止めの仕様 ○ スチールアングル40×40×5 亜鉛メッキ処理
	15章 金属工事 特記事項	

1	あと施工アンカーの引抜き耐力試験	※適用する ・ 適用しない	(15.1.1) (14.1.3)
	2 ステンレスの表面仕上げ	種類 施工箇所 ※H.L程度 下記以外の見え掛かり全て ・No2 B程度 ・No8 鏡面仕上げ	(14.2.1)
3	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	種類 色合い 施工箇所 ・BB-1種 無着色 ・BB-2種 ・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー	(14.2.2) (表14.2.1)
	4 鉄鋼の亜鉛めっき	表面処理方法 種類 施工箇所 溶融亜鉛めっき 電気亜鉛めっき	(14.2.3) (表14.2.2)

1	ラス系下地	ラス系下地の種類 種類 適用箇所 ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシート下地 ・通気構法単層下地 ・通気構法二層下地	(15.2.4)
	2 木質系セメント板	木質系セメント板の種類	(15.2.5)
3	小舞下地	材料の種類 小舞竹 ・ までのけの割り竹 ・ しのだけの割り竹 ・ しのだけの丸竹 小舞縄 ・ しゆる ・ 麻 ・ わら縄	(15.2.6)
	4 木ずり下地	木ずり用小幅板の樹種等 ※杉 心去り材 5 モルタル塗り 既調合モルタルの使用 ・ 使用する 既製目地材の使用 ・ 使用する (形状 ※図示)	(15.2.7) (15.3.2)
6	しっくい塗り	既調合しっくいの製造所欄及び種類 ※監督員と協議 木ずり下地の場合の仕上げ厚 ※15mm	(15.10.2) (15.10.3)
	7 小舞壁塗り	のりの種類 土壁 ・ ふのり *つものまた ・ ぎんなんそう (銀杏草) 砂壁 ※ふのり ・ つものまた ・ ぎんなんそう (銀杏草)	(15.11.2)
8	仕上塗材仕上げ	小舞壁の工程の種類 ※A種 ・ B種 建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 仕上塗材の種類 (呼び名) ・ 仕上げの形状及び工法 * 図示 (仕上表) ・ 複層仕上塗材の耐水性 ※耐候形3種 ・ 複層仕上塗材の上塗材の種類	(15.11.5) (表15.11.9) (15.6.2) (表15.6.1) (表15.6.2)

17章 建具工事 特記事項									
1	防火戸 防火戸の指定 * 図示 (16.1.3)								
2	見本の製作 建具見本の製作 ※製作する ・ 製作しない (16.1.4)								
③	アルミニウム製建具 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 ・ A種 ・ B種 ○D種 ○網戸等 (網戸の材質) ※合成樹脂製 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 建具の枠の見込み寸法 * 図示 (建具表) ・ 水切り板、ぜん板等 * 図示 (16.2.5) ・ 外部に面する樹脂製建具の性能等級等の種別 ・ A種 ・ B種 ・ 図示 (建具表) (表16.3.1) 建具の枠の見込み寸法 * 図示 (建具表) ・ 外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級の種別 ・ T-A種 ・ T-B種 ・ 図示 (建具表) (表16.3.2) ・ 外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級の種別 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 ・ 図示 (建具表) (表16.3.4)								
4	樹脂製建具 外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ・ S- (16.4.2) 鋼板の亜鉛めっき付着量 (16.4.3) ・ JIS G3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ※Z12又はF12 ・ JIS G3317 (溶融亜鉛-5%7%ZnNi合金めっき鋼板及び鋼帯) ※Y08 鋼板類の厚さ * 標仕 (表16.4.2) による (16.4.4) (表16.4.2)								
⑥	鋼製軽量建具 ・ ビニル被覆鋼板の適用 * 図示 (建具表) (16.5.3) ○カラー鋼板の適用 * 図示 (建具表)								
7	ステンレス建具 召合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金 表面仕上げ ※HL仕上げ ・ 図示 (建具表) (16.6.4) ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ (16.6.5) 8 木製建具 建築内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※規制対象外 ・ 第三種 建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (16.7.2) (表16.7.1) ・ フラッシュ戸 (材料、寸法等) (16.7.2) (16.7.3) * 図示 (建具表) ・ 図示されたもの以外は (16.7.2) (2) 及び (16.7.3) (1) による。 ・ かまち戸 (かまち・鏡板の種類、見込み寸法) * 図示 (建具表) ・ ふすま (上張りの種類) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙 (押入等の裏側) " (見込み寸法) * 図示 (建具表) ・ 戸ぶすま (見込み寸法) * 図示 (建具表) ・ 紙張り障子 (見込み寸法) * 図示 (建具表) ※図示 (建具表) による。 (16.2.2) (16.4.2)								
9	防音、断熱建具等								
⑩	建具用金物 建具用金物の仕様 * 建具製作所の仕様による (16.8.1) 金物の種類及び見え掛りの材質 * 図示 (建具表) ・ 標仕 (表16.8.1) による (16.8.2) 覆り玉等の取付位置 * 図示 (16.8.3) ○マスターキーの製作 * 製作する (16.8.4) ○鍵の組数 * 3本1組 (鍵箱 ※あり ・ なし)								
⑪	ガラス ガラスの厚さ・構成等については建具表により、その他ガラス性能は下記による (16.14.2) ・ 合わせガラスの種類 (衝撃特性) ※Ⅱ-1類 ・ 強化ガラスの種類 (衝撃特性) ※Ⅲ類 (曲面はⅠ類) ・ 熱線吸収ガラス (日射熱取得率) ※2種 ・ 複層ガラス (断熱性・日射熱遮蔽性) ※U3-1・U3-2・U1・U2・E4・E5 ・ 熱線反射ガラス (日射熱遮蔽性・耐久性) ※2種B類 雨掛り部分の建具枠回りに使用するシーリング材 (16.2.3) シーリング材 (※木種仕 (表11.3.1) による) 目地寸法 (※幅10mm、深さ10mm以上) ガラス留め材 ※シーリング材 (※シリコーン系) ・ ガスケット (※グレイジングチャンネル形) 板ガラスをはめ込む溝の大きさ ※標仕 (表16.14.1) による (16.14.3) 表面形状 ※図示 呼び寸法 ※図示 厚さ ※図示 ・ 壁用金属枠及び補強材 ※図示 力骨の材質、寸法、形式 ※SUS304 径5.5mmはしご形状複筋及び単筋 ・ 図示 化粧目地モルタルの色 シーリング材の種類 ※ (表11.3.1) による ・ 金属化粧カバーの材質、寸法、形状 ※図示 目地幅の寸法 ※ (16.14.5) (2) (ウ) による 伸縮調整目地 ※図示 目地部の力骨の補強方法 * 製造所の仕様による								
14	自動ドア開閉装置 自動ドアの開閉機構は、図示 (建具表) ・ (16.9.2) ・ (16.9.3) ・ (表16.9.1) ~ (表16.9.6) による								
⑮	自閉式上吊り引戸装置 製造所「評価名簿」による (16.10.2)								
16	重量シャッター シャッターの種類 * 図示 (建具表、耐風圧強度: N/m2) (16.11.2) 開閉機能による種類 ※上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 (表16.11.1) ・ シャッターケース * 設ける								
⑰	軽量シャッター 開閉機能による種類 ・ 上部電動式 (手動併用) ※手動式 (16.12.1) (16.12.2) 耐風圧強度 ・ N/m2 スラット 厚さ (mm) ※0.5 ○0.8 (表16.12.2) 材質 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯) (16.12.3) ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)								
	形状 ・ インターロック形 ○オーバーラッピング形 (16.12.4)								
18	オーバーヘッドドア								
<table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバークラスタイプ</td> <td>※バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</td> <td>・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーテカル形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304)</td> </tr> </table>		セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバークラスタイプ	※バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーテカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304)
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール						
※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバークラスタイプ	※バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーテカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304)						
耐風圧性能 () N/m ² (16.13.2)									

18章 塗装工事 特記事項	
①	一般事項 建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.1) (18.1.3) ※規制対象外 ・ 第三種 防火材の指定がある場合は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。 (18.1.3) 木部の素地ごしらえ 不透明塗料塗り ※A種 ・ B種 (18.2.2) (表18.2.1) 透明塗料塗り ・ A種 ※B種 鉄鋼面の素地ごしらえ ・ A種 ・ B種 ※C種 (表18.2.2) 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ ・ A種 ・ B種 ・ C種 (表18.2.3) モルタル及びプaster一面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種 (表18.2.4) コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種 (表18.2.5) (表18.2.6) せつこうボード及びその他ボード面の素地ごしらえ (表18.2.7) 継目処理工法の場合 ※A種 ・ B種 その他の場合 ・ A種 ※B種
②	素地ごしらえ 鉄鋼面の錆止め塗料種類 屋外 ※A種 ・ B種 (18.3.2) (表18.3.1) タイプ一部分 (屋内) ・ A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料種類 ※A種 ・ B種 ※C種 (EP-Gの場合) (表18.3.2) ・ 鉄鋼面の錆止め塗料塗り 見え掛り ※A種 ・ B種 (18.3.3) (表18.3.3) 見え隠れ ・ A種 ※B種 ・ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗り 鋼製建具 ※A種 ・ B種 (表18.3.4) その他 ・ A種 ※B種
④	合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ※1種 ・ 2種 (18.4.2) (表18.4.2) ・ 鉄鋼面種類 ・ A種 ※B種
5	クリヤラッカー塗り (CL) 種類 ・ A種 ※B種 (18.5.2) (表18.5.1)
6	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) 種類 ・ A種 ※B種 (18.6.2) (表18.6.1)
7	つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) 種類 ・ A種 ※B種 (18.8.2) (表18.8.1) (18.8.4) (表18.8.3)
8	合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) 種類 ・ A種 ※B種 (18.9.2) (表18.9.1)
9	ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) 種類 ・ A種 ※B種 (18.11.2) (表18.11.1)
⑩	木材保護着色塗料塗り (WP) 種類 ○A種 ※B種 (18.13.2) (表18.13.1)
11	耐候性塗料 (DP)

19章 内装工事 特記事項																					
1	材料 (18.1.1) (19.2.2) (19.3.2) (19.4.2) (19.5.2) (19.7.2) (19.8.2) (19.9.2) 壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤、塗料、フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒドの放散量 * 規制対象外 ・ 第三種																				
2	ビニール床シート、ビニール床タイル及びゴム床タイル張り (G) (19.2.2)																				
<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS</td> <td>※2.0</td> <td>・ 無地</td> <td>・ 突付け</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 2.5</td> <td>・</td> <td>・ 熱溶接</td> <td>・</td> </tr> </table>		種類の記号	厚さ(mm)	色柄	工法	備考	※FS	※2.0	・ 無地	・ 突付け	・	・	・ 2.5	・	・ 熱溶接	・					
種類の記号	厚さ(mm)	色柄	工法	備考																	
※FS	※2.0	・ 無地	・ 突付け	・																	
・	・ 2.5	・	・ 熱溶接	・																	
<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法</th> <th>色柄</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※2.0</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>		種類の記号	厚さ(mm)	寸法	色柄	備考	・	※2.0	・	・	・	・	・	・	・	・					
種類の記号	厚さ(mm)	寸法	色柄	備考																	
・	※2.0	・	・	・																	
・	・	・	・	・																	
<table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>		色柄	厚さ(mm)	寸法	備考	・	・	・	・												
色柄	厚さ(mm)	寸法	備考																		
・	・	・	・																		
3	カーペット敷き (G) (19.3.2) (19.3.3)																				
<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>色柄等</th> <th>帯電性</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ ウィルトンカーペット</td> <td>・ カットパイル</td> <td>・ 単一色 (無地)</td> <td>人体帯電圧</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ アキスミンスターカーペット</td> <td>・ ループパイル</td> <td>・ 柄物 (標準色)</td> <td>・ 3KV以下</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>		種別	織り方	パイル形状	色柄等	帯電性	・ A種	・ ウィルトンカーペット	・ カットパイル	・ 単一色 (無地)	人体帯電圧	・ B種	・ アキスミンスターカーペット	・ ループパイル	・ 柄物 (標準色)	・ 3KV以下	・ C種	・	・	・	・
種別	織り方	パイル形状	色柄等	帯電性																	
・ A種	・ ウィルトンカーペット	・ カットパイル	・ 単一色 (無地)	人体帯電圧																	
・ B種	・ アキスミンスターカーペット	・ ループパイル	・ 柄物 (標準色)	・ 3KV以下																	
・ C種	・	・	・	・																	
<table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ カットパイル</td> <td>・</td> <td>・ 全面接着工法</td> <td>人体帯電圧</td> <td>・ 3KV以下</td> </tr> <tr> <td>・ ループパイル</td> <td>・</td> <td>・ グリッパー工法</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>		パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・ カットパイル	・	・ 全面接着工法	人体帯電圧	・ 3KV以下	・ ループパイル	・	・ グリッパー工法	・	・					
パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考																	
・ カットパイル	・	・ 全面接着工法	人体帯電圧	・ 3KV以下																	
・ ループパイル	・	・ グリッパー工法	・	・																	
<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※第一種</td> <td>・ カットパイル</td> <td>※500*500</td> <td>※6.5</td> <td>人体帯電圧</td> <td>・ 3KV以下</td> </tr> <tr> <td>・ 第二種</td> <td>・ カットパイル ・ ループパイル ・ カットパイル</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>		種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	帯電性	備考	※第一種	・ カットパイル	※500*500	※6.5	人体帯電圧	・ 3KV以下	・ 第二種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カットパイル	・	・	・	・		
種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	帯電性	備考																
※第一種	・ カットパイル	※500*500	※6.5	人体帯電圧	・ 3KV以下																
・ 第二種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カットパイル	・	・	・	・																
4	フローリング張り (19.5.2~19.5.7) (表19.5.1~表19.5.6)																				
<table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>仕上塗装等</th> </tr> <tr> <td>※天然木化粧複合フローリング (G)</td> <td>・ なら ・ ひのき ・ 能登ヒバ</td> <td>※釘留め工法 ・ 接着工法 ・ 能登ヒバ</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>※塗装品 ・ 無塗装品</td> </tr> <tr> <td>○天然木単板フローリング</td> <td>○能登ヒバ</td> <td>○釘留め工法</td> <td>○A種</td> <td>○塗装品</td> </tr> </table>		品名	樹種	工法	種別	仕上塗装等	※天然木化粧複合フローリング (G)	・ なら ・ ひのき ・ 能登ヒバ	※釘留め工法 ・ 接着工法 ・ 能登ヒバ	・ A種 ・ B種 ・ C種	※塗装品 ・ 無塗装品	○天然木単板フローリング	○能登ヒバ	○釘留め工法	○A種	○塗装品					
品名	樹種	工法	種別	仕上塗装等																	
※天然木化粧複合フローリング (G)	・ なら ・ ひのき ・ 能登ヒバ	※釘留め工法 ・ 接着工法 ・ 能登ヒバ	・ A種 ・ B種 ・ C種	※塗装品 ・ 無塗装品																	
○天然木単板フローリング	○能登ヒバ	○釘留め工法	○A種	○塗装品																	
<table border="1"> <tr> <th>塗装</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステン塗り ・ ワックス塗り</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>(19.5.7) (19.6.2) (表19.6.1)</td> </tr> </table>		塗装	種別	備考	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステン塗り ・ ワックス塗り	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	(19.5.7) (19.6.2) (表19.6.1)														
塗装	種別	備考																			
※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステン塗り ・ ワックス塗り	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	(19.5.7) (19.6.2) (表19.6.1)																			

⑥	せつこうボード その他ボード及び合板類の張付け種別 ・ A種 ※B種 (19.7.3) (表19.7.3) ・ せつこうボードの目地処理 (経目処理工法 ・ 突付け工法 ○目透し工法 (テーパージェッジ及びベベルエッジ使用箇所は図示) (表19.7.5) (表19.8.2)												
7	壁紙張り (19.8.2)												
<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td> </tr> </table>		施工箇所	品質	防火性能			・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃			・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃			・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃
施工箇所	品質	防火性能											
		・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃											
		・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃											
		・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃											
<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ モルタル及びプaster一面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種 (19.8.3) (表18.2.4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ せつこうボード面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種 (表18.2.7)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>張付け工法</td> <td>※直張り</td> </tr> </table>		材料	備考	・ モルタル及びプaster一面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種 (19.8.3) (表18.2.4)		・ せつこうボード面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種 (表18.2.7)		張付け工法	※直張り				
材料	備考												
・ モルタル及びプaster一面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種 (19.8.3) (表18.2.4)													
・ せつこうボード面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種 (表18.2.7)													
張付け工法	※直張り												

20章 断熱・防露・ユニット及びその他工事 特記事項													
①	断熱 (G) ・ 防露 ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 断熱材は、原則として「グリーン購入法」における特定調達品目を使用する。 断熱材の種類と厚さ又は使用量 ※図示 (20.1.2) (表20.1.1) 施工部位及び外気等に接する開口部を断熱構造とする部位 (20.1.3)												
②	ユニット工事 下記に記載された品番・型番等、備考欄の製造所名は、品質の程度を示すための参考であり、同等品以上とする。 (20.2.1) (20.1.2)												
<table border="1"> <tr> <th>ユニットの種類</th> <th>品質・型番等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 住宅用複合サニタリーユニット ・ 住宅用浴室ユニット ・ 住宅用便所ユニット ○トイレブース ・ 住宅用収納間仕切ユニット ・ 洗面化粧ユニット ・ システムキッチン</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		ユニットの種類	品質・型番等	備考	・ 住宅用複合サニタリーユニット ・ 住宅用浴室ユニット ・ 住宅用便所ユニット ○トイレブース ・ 住宅用収納間仕切ユニット ・ 洗面化粧ユニット ・ システムキッチン								
ユニットの種類	品質・型番等	備考											
・ 住宅用複合サニタリーユニット ・ 住宅用浴室ユニット ・ 住宅用便所ユニット ○トイレブース ・ 住宅用収納間仕切ユニット ・ 洗面化粧ユニット ・ システムキッチン													
③	その他工事												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式</td> <td>○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ</td> <td></td> </tr> </table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ							
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プルコード式 (ストッパー付) ・ ワンタッチチェーン式 ○チェーン式 ・ 電動式	○無地 ・ 柄物 ・ 遮光タイプ												
<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>・ 1本操作コード ・ 2本操作コード</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> </tr> </table>		形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)										
※横型	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム合金製	※25										
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100										
<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの種類</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・ プル</td></tr></table>		操作方法	スクリーンの種類	品質等	・ プル								
操作方法	スクリーンの種類	品質等											
・ プル													

○リサイクル製品の使用

(1)リサイクル製品は、「石川県リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。
石川県リサイクル認定製品 ・使用する

「石川県リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。
http://www.pref.ishikawa.jp/ (石川県 環境部 廃棄物対策課)

(2)その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。

(3)建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。(但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの)
看板の寸法は90cm×60cm程度とする。

この建築工事ではリサイクル製品として

○○○○○○○○、○○○○○○○○

を使用しています。

R

石川県土木部 営繕課

建設副産物リサイクル
シンボルマーク

(注) 建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること

21章 排水工事
項目 特記事項

1	排水管	排水管用材料	(21.1.1) 【21.2.1】 【表21.2.1】												
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>管形状(接合方法)</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※外圧管(※1種)</td> <td>B形(ゴム接合)</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP ・VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管</td> <td>・RS-VU</td> <td></td> </tr> </table>	材種	管の種類	管形状(接合方法)	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種)	B形(ゴム接合)	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU		・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	・RS-VU		
材種	管の種類	管形状(接合方法)													
・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種)	B形(ゴム接合)													
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU														
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	・RS-VU														
②	排水溝及び樹蓋等	排水溝及び樹蓋の種類、形状、寸法	*図示 (21.1.1) 【21.2.1】												

22章 舗装工事
項目 特記事項

1	盛土に用いる材料	(22.1.1) 【22.2.3】 【表2.2.1】																																		
2	凍上抑制層の材料	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利 【22.2.3】																																		
3	路床	<p>路床安定処理 【22.2.2】 【22.2.3】 【表22.2.1】</p> <p>※添加材料による安定処理</p> <p>種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種</p> <p>・高炉セメントB種(G) ・生石灰() ・消石灰()</p> <p>添加量 kg/m³(目標CBR ※5以上)</p> <p>・ジオテキスタイルによる安定処理</p> <p>ジオテキスタイルの品質</p> <p>単位面積質量 60g/m²以上</p> <p>厚さ(mm) 0.5~1.0</p> <p>引張り強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上</p> <p>透水係数 1.5×10⁻⁶cm/sec以上</p> <p>透水性能に用いるフィルター厚さ 【22.2.2】</p> <p>車道部 ※150mm ・()</p> <p>歩道部 ※50mm ・()</p> <p>路床土の支持力比(CBR)試験 【22.2.5】</p> <p>※行う(※乱した土 ・乱さない土)</p> <p>路床締め度の試験 【22.2.5】</p> <p>※行う</p> <p>砂の粒度試験 【22.2.5】</p> <p>※行う</p> <p>材料(G) 【22.3.3】 【表2.3.1】</p> <p>※再生クラッシュラン(RC-40)</p> <p>・クラッシュラン鉄鋼スラグ(CS-40)</p> <p>路盤の厚さ 【22.3.3】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="4">路盤の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">車道部</th> <th colspan="2">歩道部</th> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・250</td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・</td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>カラー舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・250</td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>透水性アスファルト舗装</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>インターロッキングブロック舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・250</td> <td>・100</td> </tr> </table> <p>路盤の締め度試験 【22.3.5】</p> <p>※行う</p>	舗装の種類	路盤の厚さ(mm)				車道部		歩道部		アスファルト舗装	・100	・150	・250	・100	コンクリート舗装	・100	・150	・	・100	カラー舗装	・100	・150	・250	・100	透水性アスファルト舗装				・100	インターロッキングブロック舗装	・100	・150	・250	・100
舗装の種類	路盤の厚さ(mm)																																			
	車道部		歩道部																																	
アスファルト舗装	・100	・150	・250	・100																																
コンクリート舗装	・100	・150	・	・100																																
カラー舗装	・100	・150	・250	・100																																
透水性アスファルト舗装				・100																																
インターロッキングブロック舗装	・100	・150	・250	・100																																
4	路盤																																			

5	アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ 【22.4.2】																																															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">部位</th> <th colspan="2">舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>基層</th> <th>表層</th> </tr> <tr> <td>車道部(基層なし)</td> <td>・50</td> <td>・50</td> </tr> <tr> <td>車道部(基層あり)</td> <td>・50</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>歩道部</td> <td>・30</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>アスファルト ※再生アスファルト(G) ・ストレートアスファルト 【22.4.3】</p> <p>再生加熱アスファルト混合物の種類 【22.4.4】 【表22.4.4】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>区分</th> <th>一般地域</th> <th>※寒冷地域</th> </tr> <tr> <th>表層</th> <td>※密粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・細粒度アスファルト混合物(13)</td> <td></td> </tr> </table> <p>シールコート ※行わない ・行う(施工範囲:) 【22.4.5】</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う 【22.4.6】</p>	部位	舗装の厚さ(mm)		基層	表層	車道部(基層なし)	・50	・50	車道部(基層あり)	・50	・30	歩道部	・30	・	区分	一般地域	※寒冷地域	表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)		・細粒度アスファルト混合物(13)																									
部位	舗装の厚さ(mm)																																																
	基層	表層																																															
車道部(基層なし)	・50	・50																																															
車道部(基層あり)	・50	・30																																															
歩道部	・30	・																																															
区分	一般地域	※寒冷地域																																															
表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)																																															
	・細粒度アスファルト混合物(13)																																																
6	コンクリート舗装	<p>早強セメント ※使用しない ・使用する 【22.5.3】</p> <p>注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 【22.5.3】 【表22.5.2】</p> <p>溶接金網 ※有り ・無し 【22.5.3】 【表22.5.4】</p> <p>厚さ試験 ※行う ・行わない 【22.5.6】</p>																																															
7	カラー舗装	<p>カラー舗装の種類 【22.6.2~22.6.4】 【表22.6.1、表22.6.2】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種類</th> <th>車道部の基層</th> <th>着色骨材等</th> <th>顔料の添加量等</th> <th>カラー舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>※アスファルト混合物</td> <td>※なし</td> <td>・有色骨材(焼成)</td> <td>・5~7%</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・石油樹脂系混合物</td> <td>・あり</td> <td>・着色骨材(樹脂被覆)</td> <td>・%</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>・樹脂系混合物</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> <td>5~10</td> </tr> <tr> <td>・ニート工法</td> <td></td> <td>・エメリー</td> <td></td> <td>3~5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・着色磁器質骨材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・塗布工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1程度以下</td> </tr> </table>	種類	車道部の基層	着色骨材等	顔料の添加量等	カラー舗装の厚さ(mm)	※アスファルト混合物	※なし	・有色骨材(焼成)	・5~7%	※50	・石油樹脂系混合物	・あり	・着色骨材(樹脂被覆)	・%	・30	・樹脂系混合物		・		5~10	・ニート工法		・エメリー		3~5			・着色磁器質骨材			・塗布工法				1程度以下												
種類	車道部の基層	着色骨材等	顔料の添加量等	カラー舗装の厚さ(mm)																																													
※アスファルト混合物	※なし	・有色骨材(焼成)	・5~7%	※50																																													
・石油樹脂系混合物	・あり	・着色骨材(樹脂被覆)	・%	・30																																													
・樹脂系混合物		・		5~10																																													
・ニート工法		・エメリー		3~5																																													
		・着色磁器質骨材																																															
・塗布工法				1程度以下																																													
8	透水性アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う 【22.7.6】 【22.4.6】																																															
9	ブロック系舗装	<p>・コンクリート平板舗装 【22.8.2】 【22.8.3】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> <th>表面加工</th> </tr> <tr> <td>※普通平板(N)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>・研出し ・洗出し</td> </tr> <tr> <td>・透水平板(P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>・たたき出し</td> </tr> </table> <p>・インターロッキングブロック舗装 【22.8.2】 【22.8.3】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種類</th> <th>曲げ強度</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面加工及び色彩等</th> </tr> <tr> <td>※普通タイプ</td> <td>5N/mm²以上</td> <td>車道部 ※80</td> <td>※標準タイプ</td> </tr> <tr> <td>・誘導、注意喚起用タイプ</td> <td></td> <td>歩道部 ※60</td> <td>・表面化粧タイプ</td> </tr> <tr> <td>・透水性タイプ</td> <td>3N/mm²以上</td> <td></td> <td>誘導、注意喚起用は</td> </tr> <tr> <td>・植生タイプ</td> <td>4N/mm²以上</td> <td>※100</td> <td>黄色とする</td> </tr> </table> <p>製造所 JIS A 5371による。</p> <p>・舗石舗装 【22.8.2】 【22.8.3】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> </tr> <tr> <td>※小舗石(花こう岩)</td> <td>※80~100</td> <td>※うろこ張り</td> <td>※コンクリート舗装</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・アスファルト舗装</td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	表面加工	※普通平板(N)	※300角	※60	※砂	・研出し ・洗出し	・透水平板(P)	・	・	・モルタル	・たたき出し	種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等	※普通タイプ	5N/mm ² 以上	車道部 ※80	※標準タイプ	・誘導、注意喚起用タイプ		歩道部 ※60	・表面化粧タイプ	・透水性タイプ	3N/mm ² 以上		誘導、注意喚起用は	・植生タイプ	4N/mm ² 以上	※100	黄色とする	種類	厚さ(mm)	施工方法	基層	※小舗石(花こう岩)	※80~100	※うろこ張り	※コンクリート舗装	・	・	・	・アスファルト舗装
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	表面加工																																													
※普通平板(N)	※300角	※60	※砂	・研出し ・洗出し																																													
・透水平板(P)	・	・	・モルタル	・たたき出し																																													
種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等																																														
※普通タイプ	5N/mm ² 以上	車道部 ※80	※標準タイプ																																														
・誘導、注意喚起用タイプ		歩道部 ※60	・表面化粧タイプ																																														
・透水性タイプ	3N/mm ² 以上		誘導、注意喚起用は																																														
・植生タイプ	4N/mm ² 以上	※100	黄色とする																																														
種類	厚さ(mm)	施工方法	基層																																														
※小舗石(花こう岩)	※80~100	※うろこ張り	※コンクリート舗装																																														
・	・	・	・アスファルト舗装																																														
10	区画線	<p>路面表示用塗料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類</th> <th>施工時の条件</th> <th>適用</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色彩</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">JIS K 5665</td> <td>・1種(G)</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>幅 ※150</td> <td>※白</td> </tr> <tr> <td>・2種(G)</td> <td>加熱</td> <td></td> <td>厚さ ※1.0</td> <td>・黄</td> </tr> <tr> <td>※3種1号</td> <td>溶融</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。</p>	規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	色彩	JIS K 5665	・1種(G)	常温	液状	幅 ※150	※白	・2種(G)	加熱		厚さ ※1.0	・黄	※3種1号	溶融	粉体状																											
規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	色彩																																												
JIS K 5665	・1種(G)	常温	液状	幅 ※150	※白																																												
	・2種(G)	加熱		厚さ ※1.0	・黄																																												
	※3種1号	溶融	粉体状																																														

23章 植栽工事
項目 特記事項

1	土壌の酸度、塩分量試験	(23.1.1) 【23.1.3】																												
2	樹木の植栽基盤整備	<p>芝及び地被類 【23.2.2】 【表23.2.1】 【表23.2.2】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>適用</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>※行う ・行わない</td> <td>※20</td> <td>※白種</td> <td>※植栽範囲 ・図示</td> </tr> </table> <p>樹木 【23.2.2】 【表23.2.1】 【表23.2.2】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>※100</td> <td>※A種</td> <td>※葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>※80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>※60</td> <td>・C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>※50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで補込み用土で盛土を行う。</p>	適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	※行う ・行わない	※20	※白種	※植栽範囲 ・図示	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	・12以上	※100	※A種	※葉張りの範囲	・7以上~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	※60	・C種	・図示	・3未満	※50	・D種	
適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																											
※行う ・行わない	※20	※白種	※植栽範囲 ・図示																											
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																											
・12以上	※100	※A種	※葉張りの範囲																											
・7以上~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																											
・3以上~7未満	※60	・C種	・図示																											
・3未満	※50	・D種																												
3	補込み用土	※現場発生土の良質土 ・客土(※畑土 ・黒土) 【23.2.3】																												

4	土壌改良材	※適用する 【23.2.3】 【23.2.4】
5	支柱材	※丸太又は間伐材(G) ・竹 【23.3.2】
6	幹巻き用材料	※幹巻き用テープ ・わら及び、こも 【23.3.2】
7	芝張り	種類 ※こらうり芝 ・野芝 【23.4.2】
8	枯補償	提出すること。
9	吹付けは種	<p>種子の種類 ※芝芝類又はクローバー(採取後2年以内) 【23.4.2】</p> <p>種子の量 ※発芽率80%以上</p>

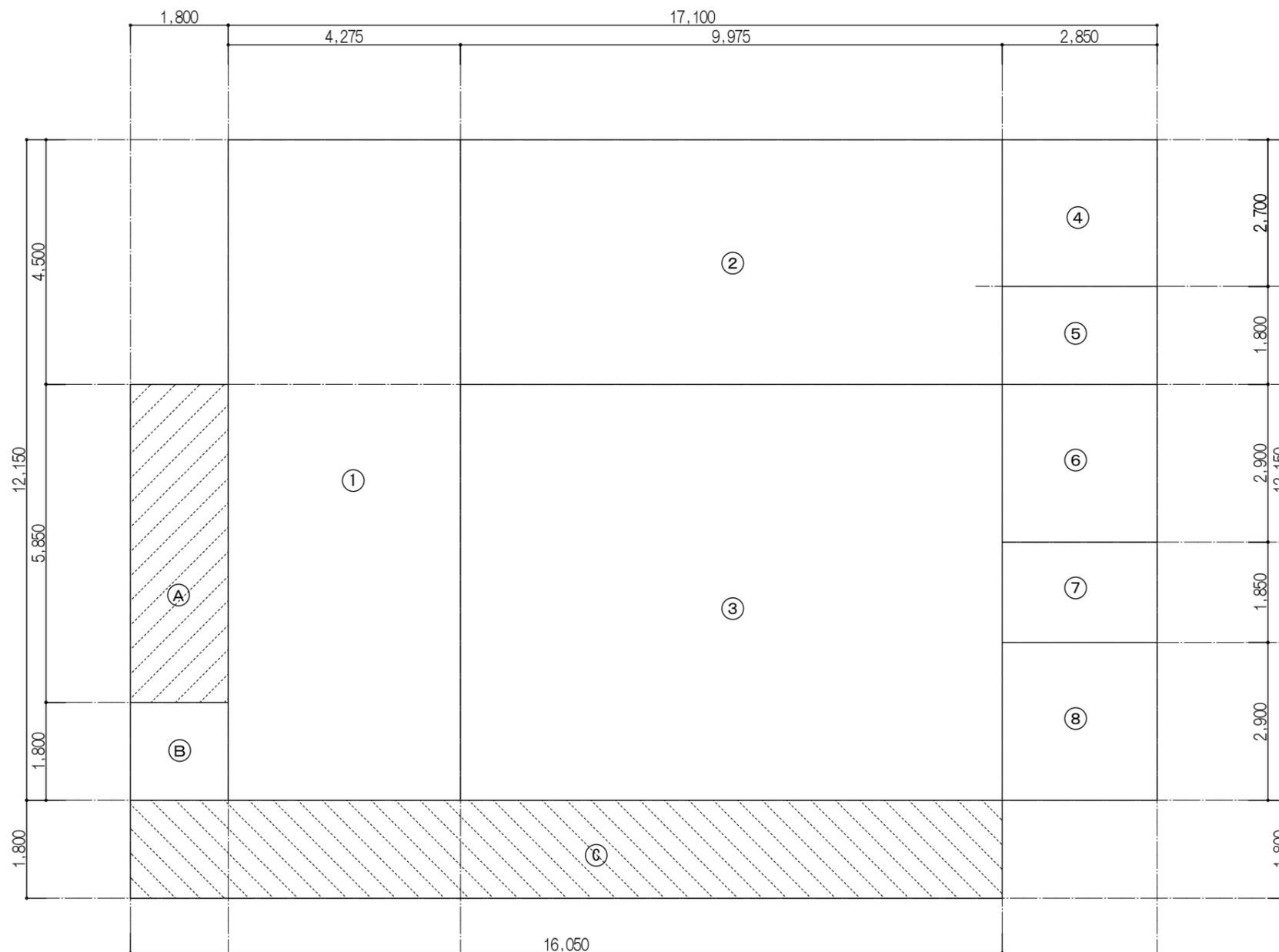
23章 その他
項目 特記事項

①	いしかわ土日おやすみモデル工事	<p>1) 適用</p> <p>工事現場において原則土日を休日とした週休2日の工事「いしかわ土日おやすみモデル工事」(以下、「モデル工事」という)の適用については、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発注者指定型 ※ 施工者希望型 <p>(イ) 受注者は、現場着手日までに、「いしかわ土日おやすみモデル工事実施要領」様式1の協議書によりモデル工事の実施の有無を発注者と協議すること。</p> <p>(ロ) 協議の結果、モデル工事を行わない場合は、下記(2) (1)~(7)の内容によらず施工するものとし、(8)の補正分を減額する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象外 <p>2) モデル工事の内容</p> <p>(1) 受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。</p> <p>(2) 受注者は、現場着手前に原則土日を休日とした週休2日の計画工程を工事工程表(様式2を標準とする)に記入し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>(3) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>(4) 受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。</p> <p>(5) 週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ土日おやすみモデル工事 実施要領」を参照すること。</p> <p>(6) 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。</p> <p>(7) 受注者は、発注者が必要と認めた場合、別に定めるアンケート調査に協力すること。</p> <p>(8) 当初設計において、週休2日(4週8休以上、現場閉所率28.5%(8日/28日)以上)を前提に補正係数1.05により労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材単価)の労務費)を補正している。</p> <p>(9) 発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合は、(8)の補正分を減額する。</p> <p>なお、施工者希望型においては、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。</p>
---	-----------------	---

2 余裕期間制度
試行工事

1	余裕期間制度対象工事の内容	<p>(1) 本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度(フレックス方式)試行要領に基づき実施するものとする。</p> <p>(2) 受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。</p> <p>(3) 受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。</p> <p>(4) 工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。</p> <p>(5) 受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。</p> <p>(6) 受注者は、着工日までの余裕期間内に工事(工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所設置等の準備工を含む。)に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。</p> <p>(7) 受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任(監理)技術者の配置を要しない。</p> <p>(8) 受注者は、着手日までに施工計画書を提出するものとする。</p> <p>(9) 余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。</p> <p>(10) その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度(フレックス方式)試行要領によるものとする。</p> <p>(着工日の期限) 契約締結日から起算して3ヶ月以内</p> <p>(完成日の期限) 令和〇年〇月〇日以内</p>
---	---------------	---

設計	石川県土木部 営繕課	工事名	木場潟公園東園地里山資源再生ハウス(仮称)建設工事(建築)		
		図面名	木造建築工事仕様書 その5		
		図面番号	A-05		

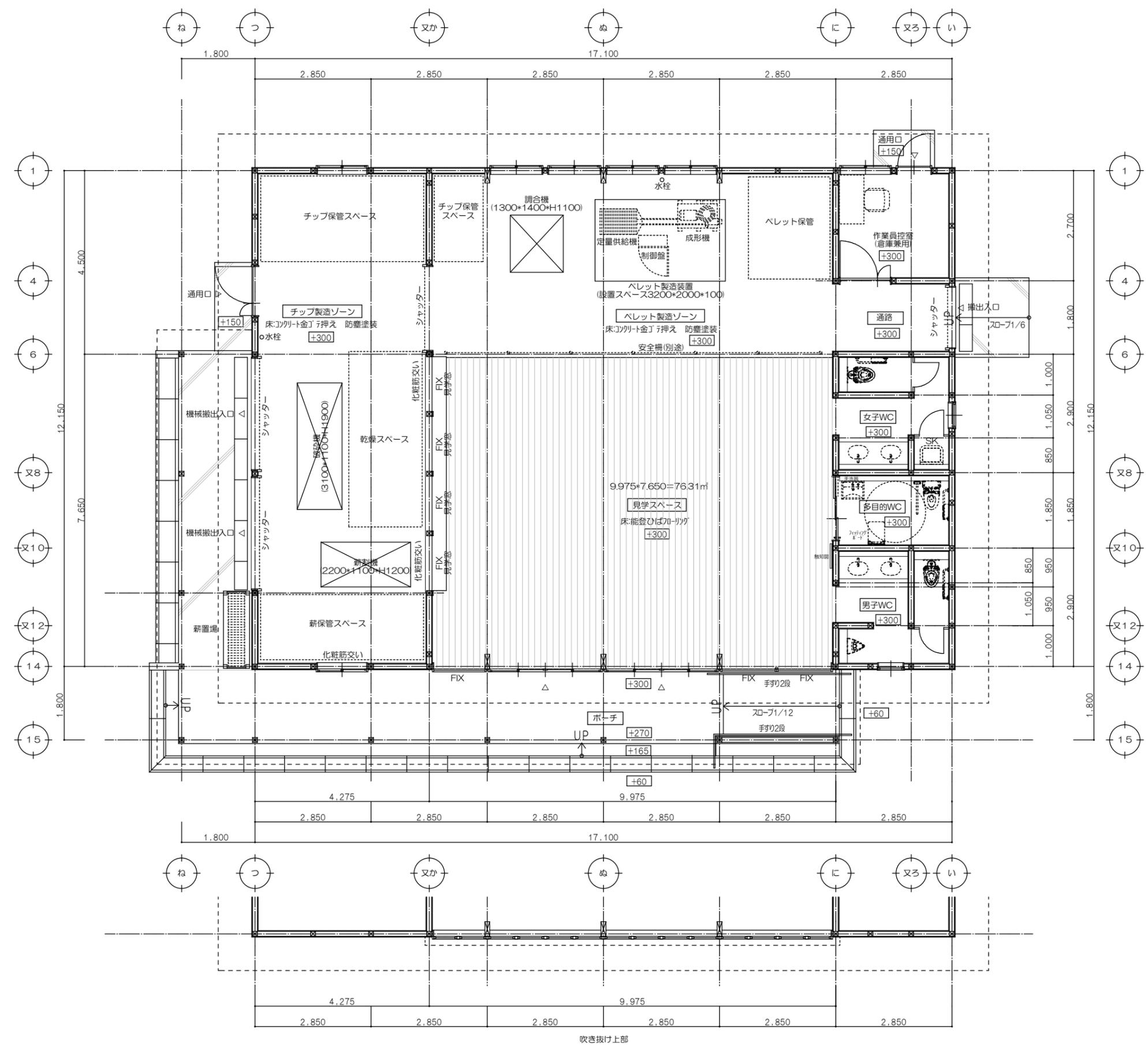
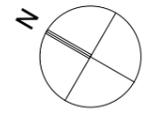


1階 求積図 S=1/50

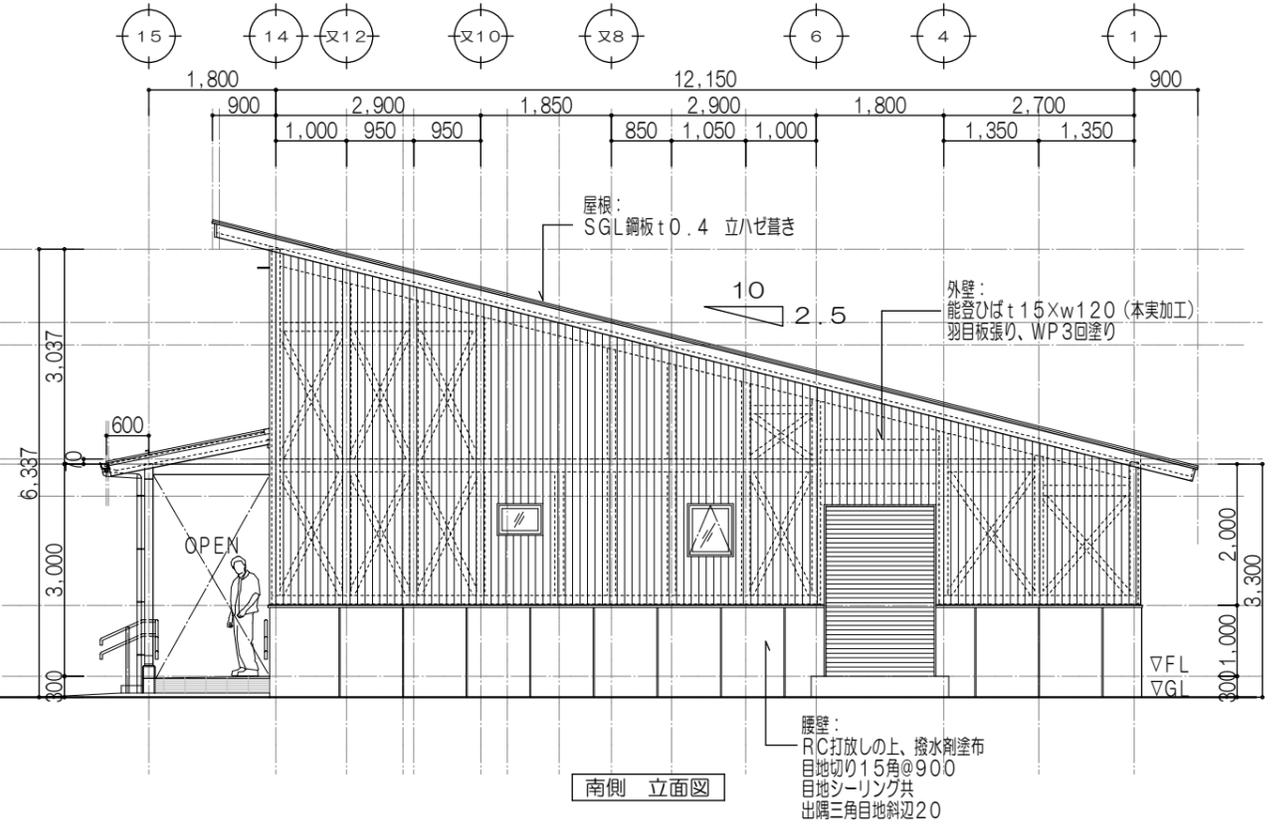
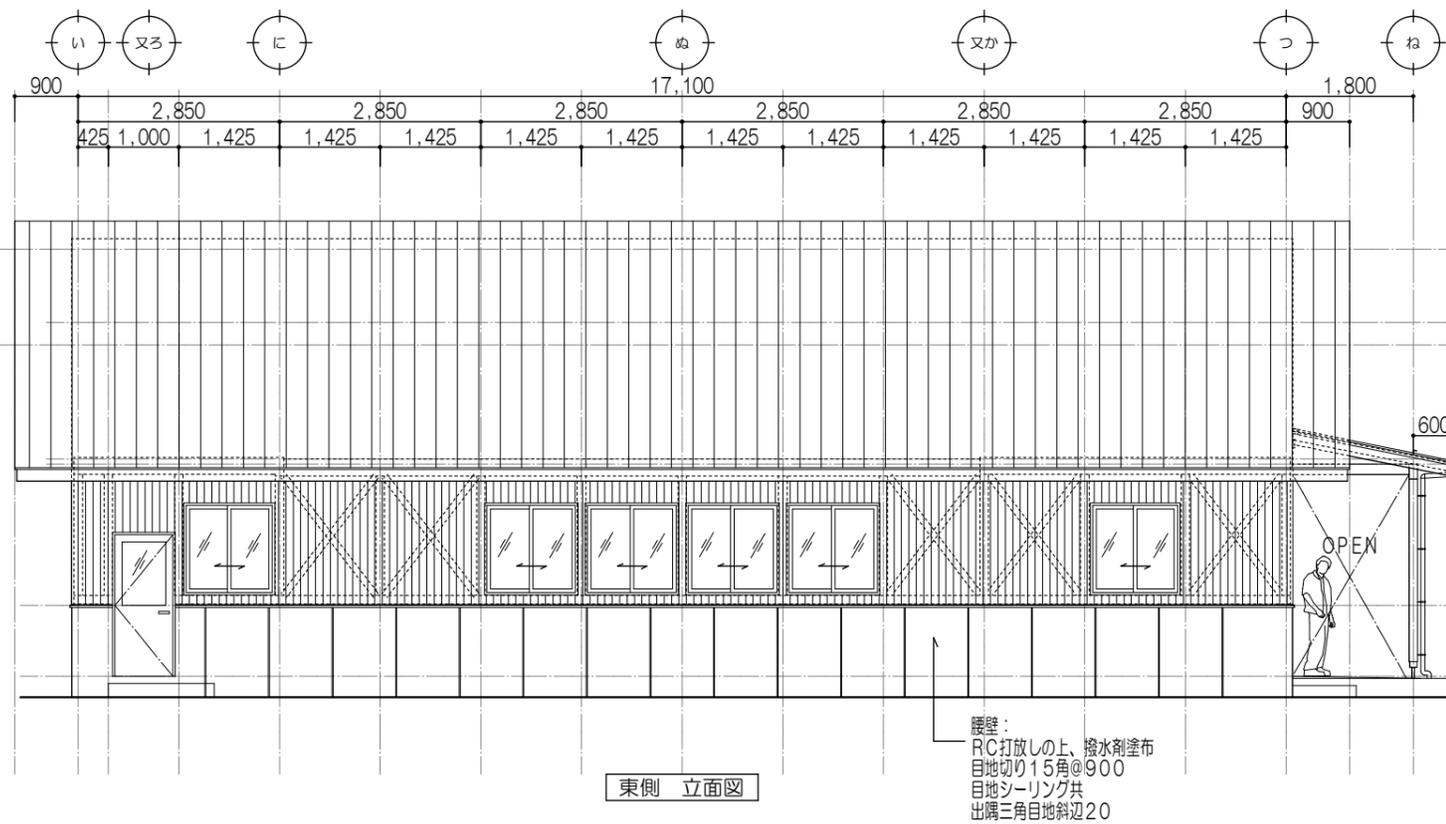
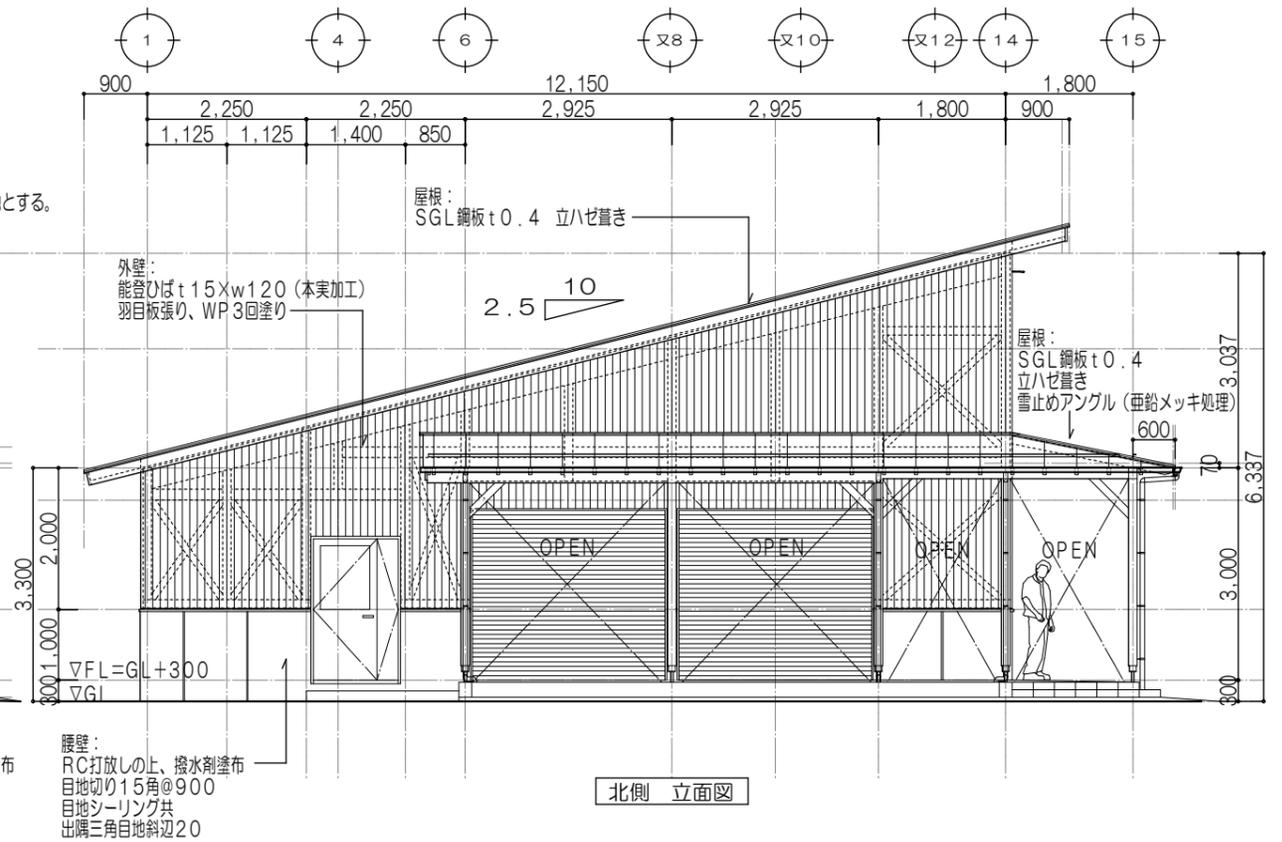
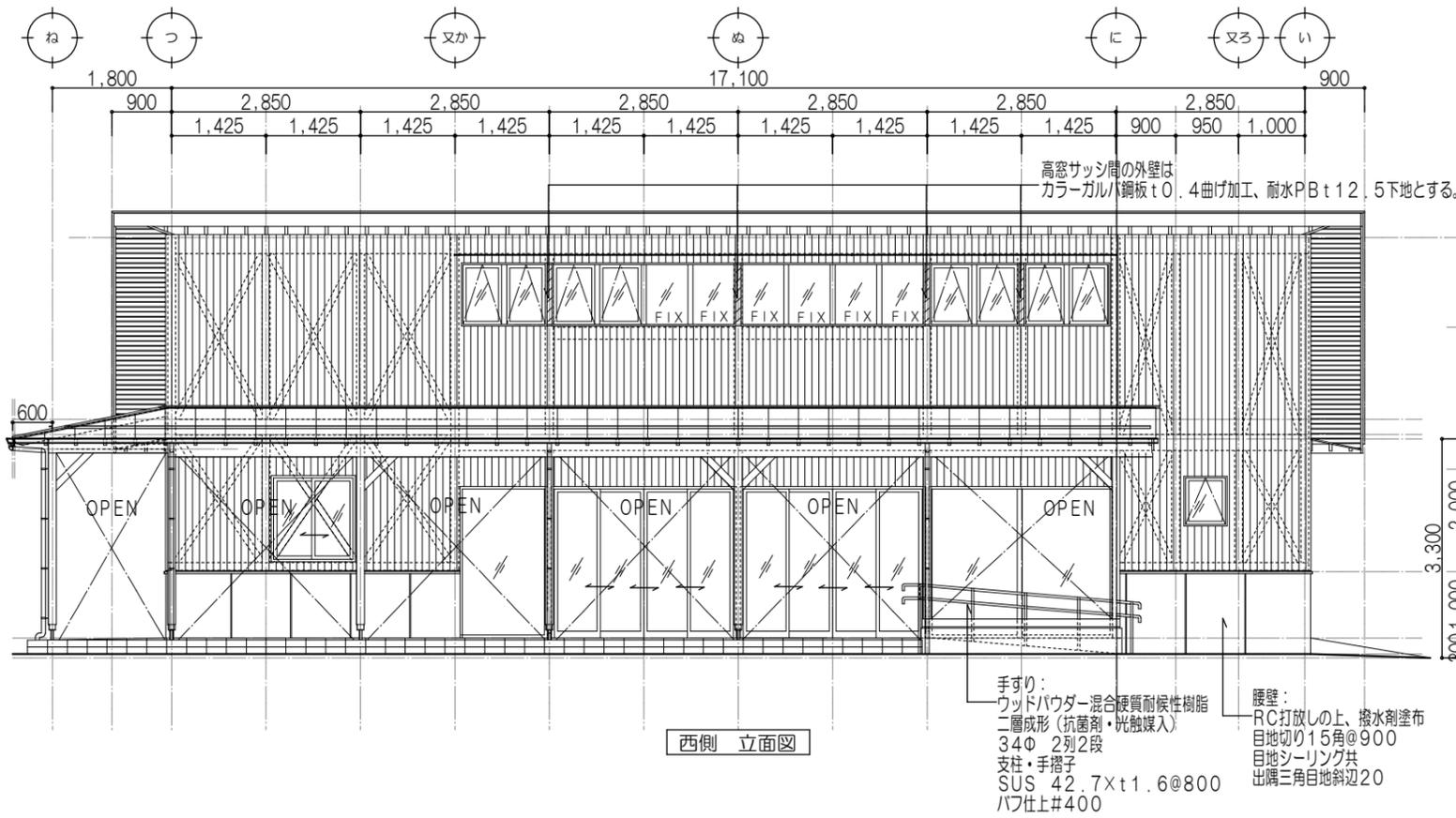
面積表

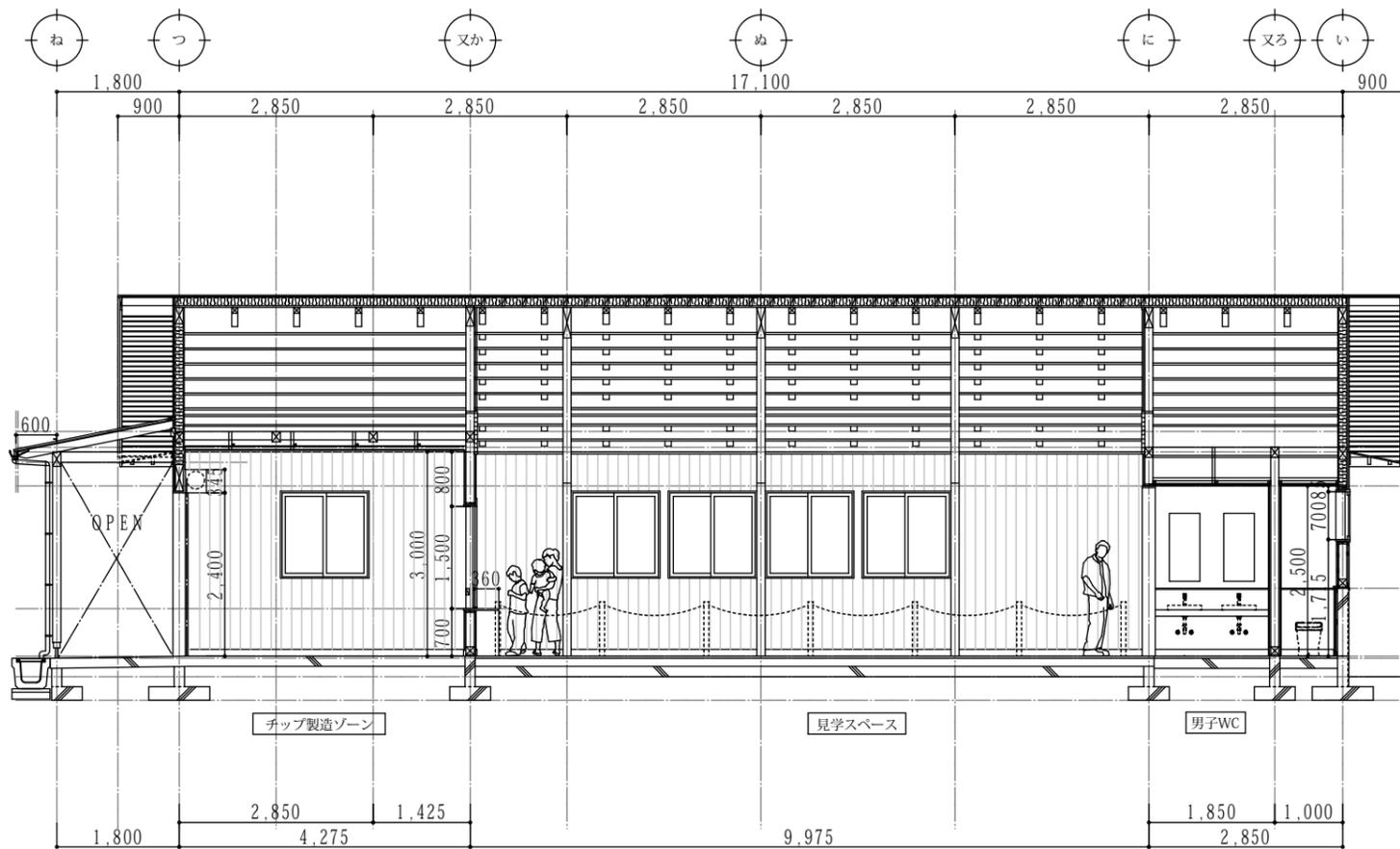
符号	室名	計算式	床面積 (㎡)
①	チップ製造ゾーン	4.275 × 12.15	51.94125
②	ペレット製造ゾーン	9.975 × 4.50	44.88750
③	見学スペース	9.975 × 7.650	76.30875
④	作業員控室	2.850 × 2.700	7.69500
⑤	通路	2.850 × 1.800	5.13000
⑥	女子WC	2.850 × 2.900	8.26500
⑦	多目的WC	2.850 × 1.850	5.27250
⑧	男子WC	2.850 × 2.900	8.26500
A	機械搬出入口	1.800 × 5.850	10.53000
B	薪置場	1.800 × 1.800	3.24000
C	ポーチ	16.050 × 1.800	28.89000
1階・延床面積 (1~8、B)			211.00
敷地面積			166,801.646
建築面積 (1~8、A、B、C)			250.42
建ぺい率 $250.42/166,801.646 \times 100 = 0.15\% < 60\%$			
容積率 $211.00/166,801.646 \times 100 = 0.13\% < 200\%$			

① ② は屋内の用途ではないため、床面積には不算入とする。

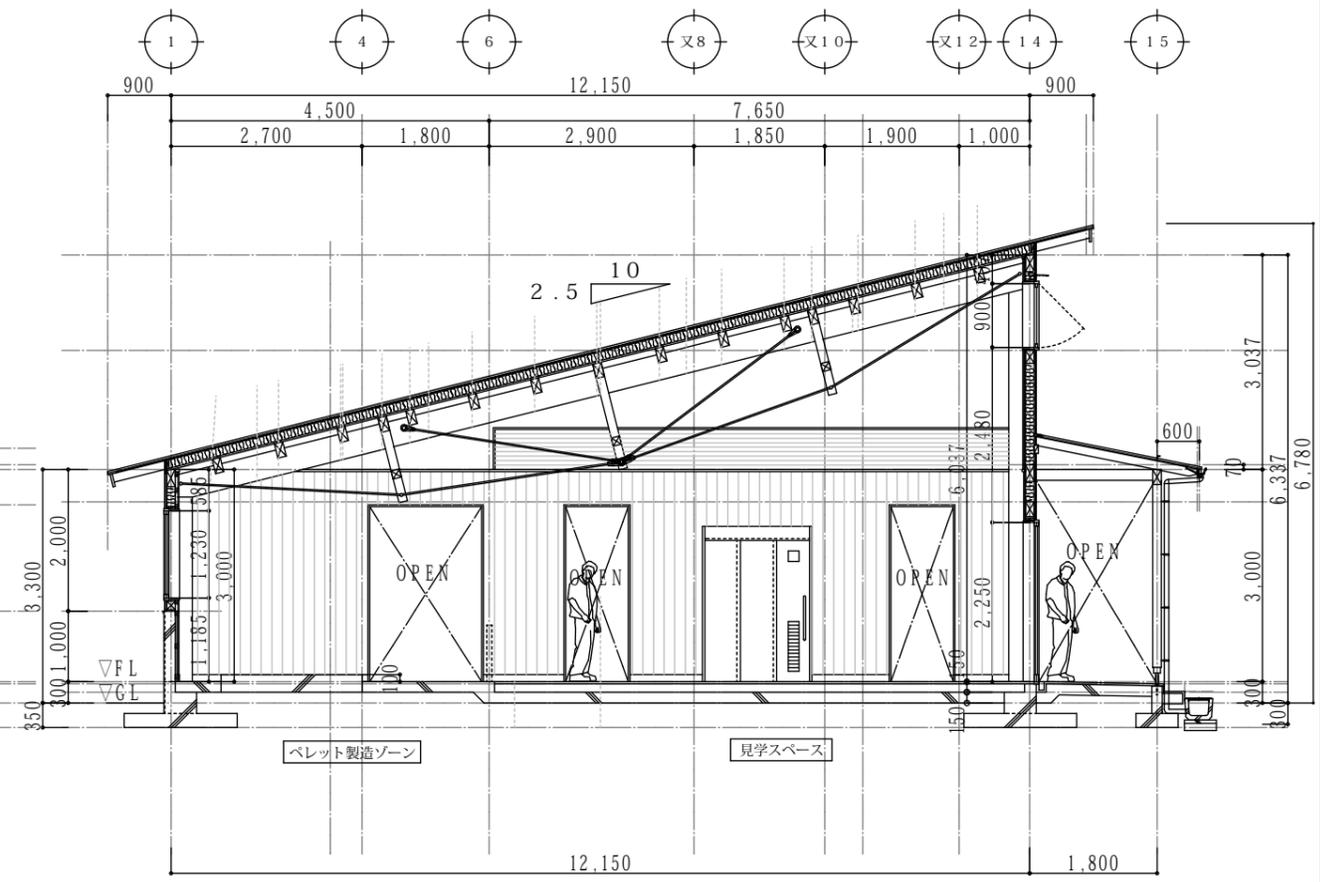


吹き抜け上部

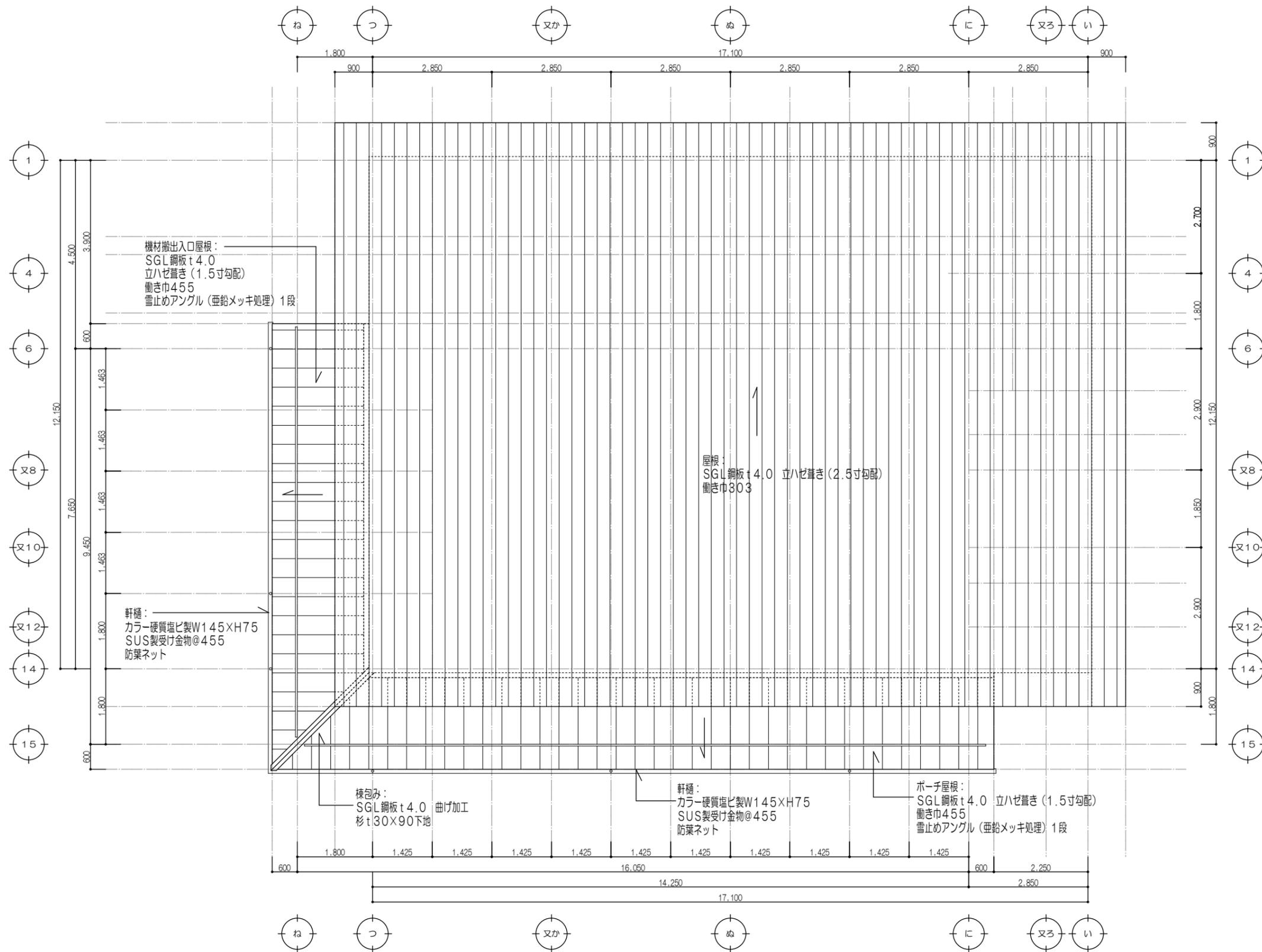


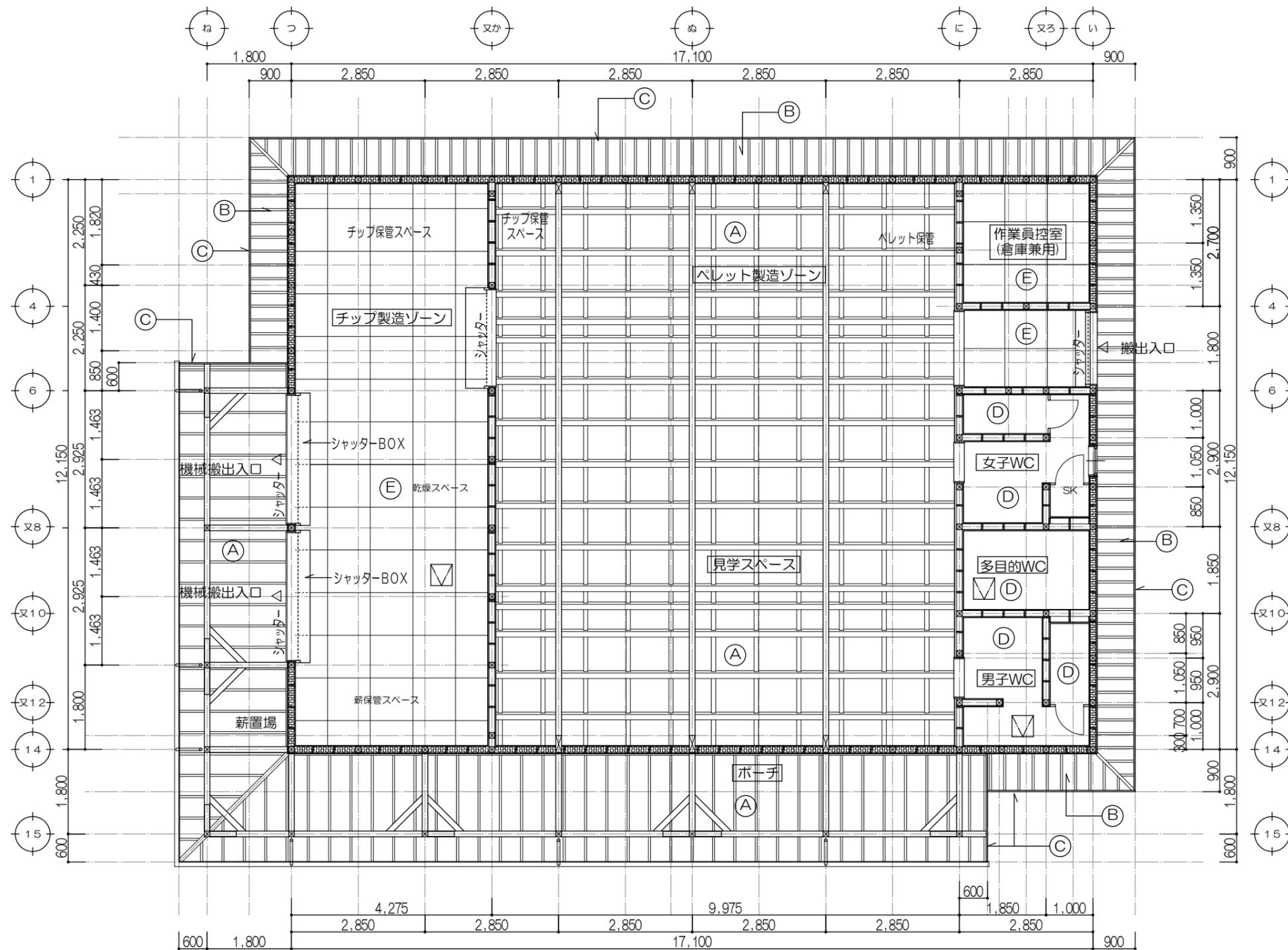


A~A 断面図



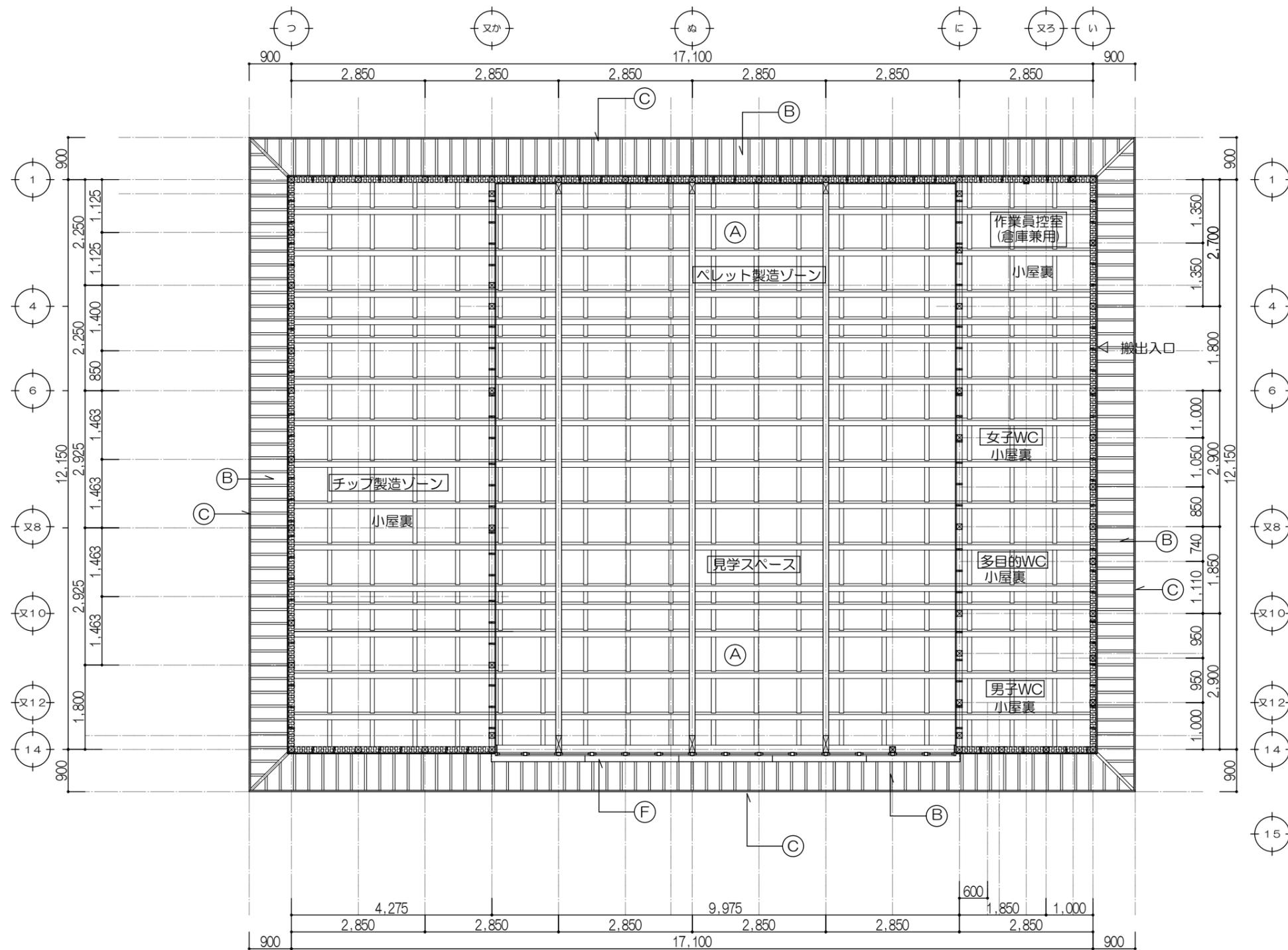
B~B 断面図





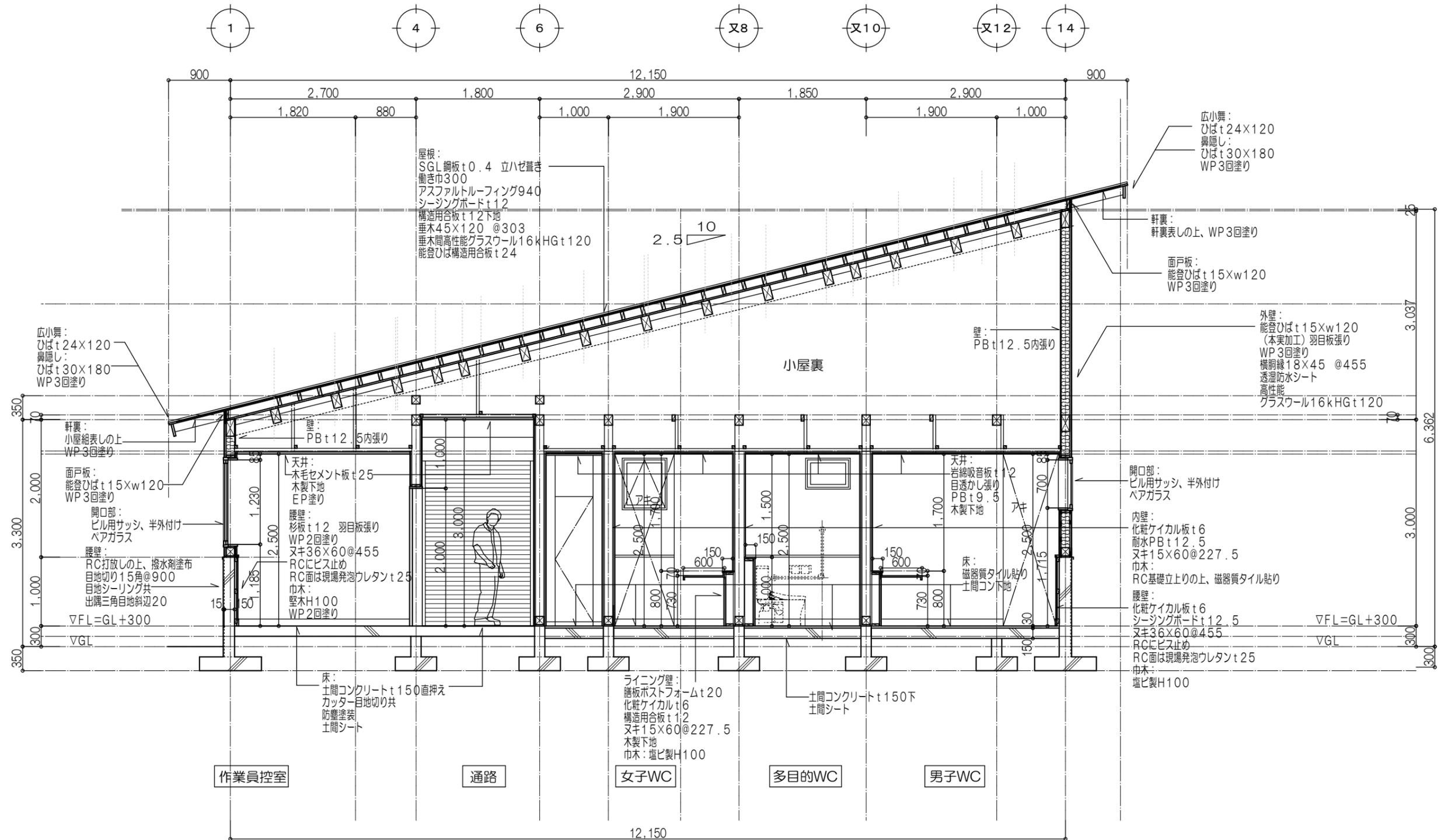
■天井仕上げ 凡例

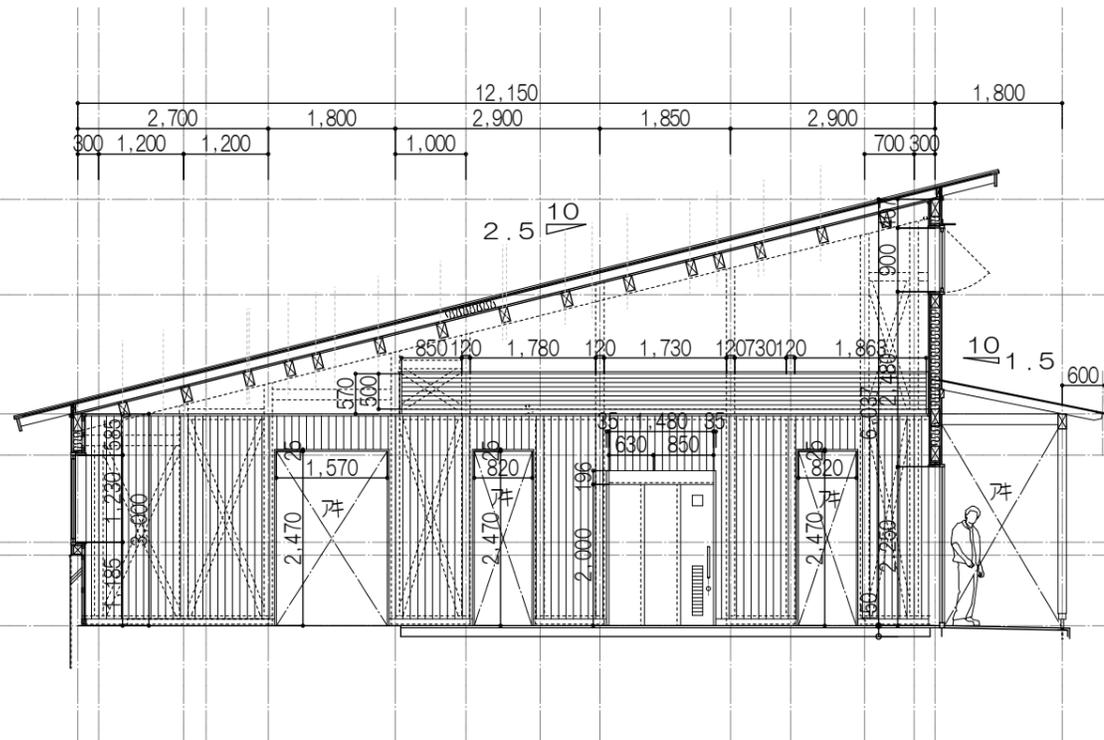
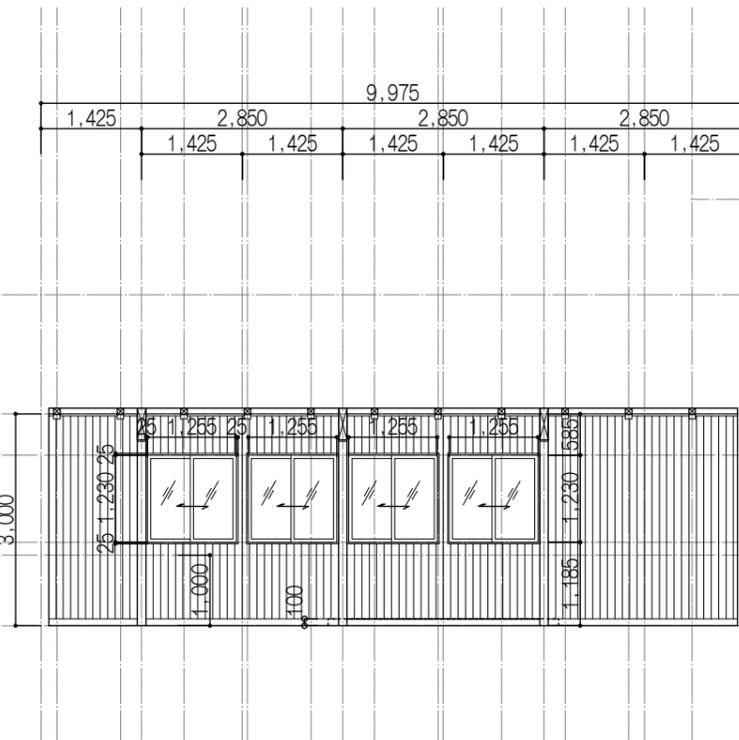
(A)	小屋裏表し (屋内はWP 2回塗り、屋外はWP 3回塗り)
(B)	軒裏表しの上、WP 3回塗り
(C)	鼻隠し、破風板、ひば t 30×180、WP 3回塗り
(D)	岩綿吸音板 t 12目透かし貼り、PB t 9下地
(E)	木毛セメント板 t 25張り、EP塗り、木製下地
(F)	軒樋：カラー硬質塩ビ製W145×H75 SUS製受け金物@455
◻	天井点検口450角



■天井仕上げ 凡例

(A)	小屋裏表し (屋内はWP 2回塗り、屋外はWP 3回塗り)
(B)	軒裏表しの上、WP 3回塗り
(C)	鼻隠し、破風板、ひば t 30、木材保護剤 3回塗り
(D)	岩綿吸音板 t 12目透かし貼り、PB t 9下地
(E)	木毛セメント板 t 25張り、EP塗り、木製下地
(F)	アルミ製庇 (カラー) D200×L2,000×5ケ
◻	天井点検口 450角





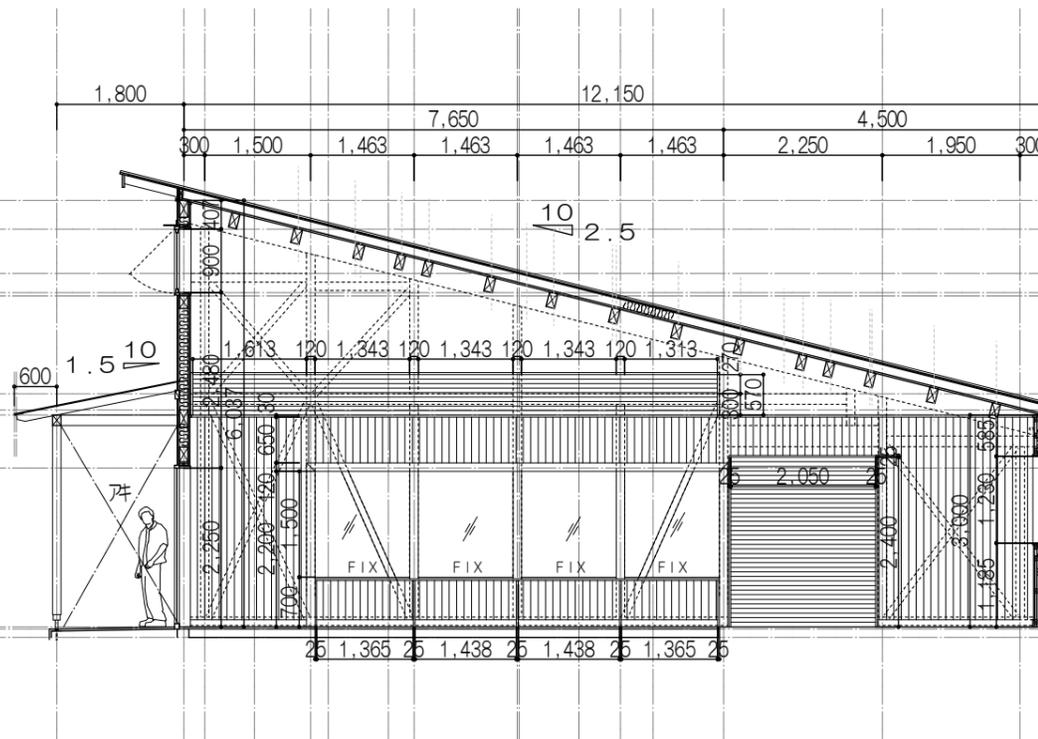
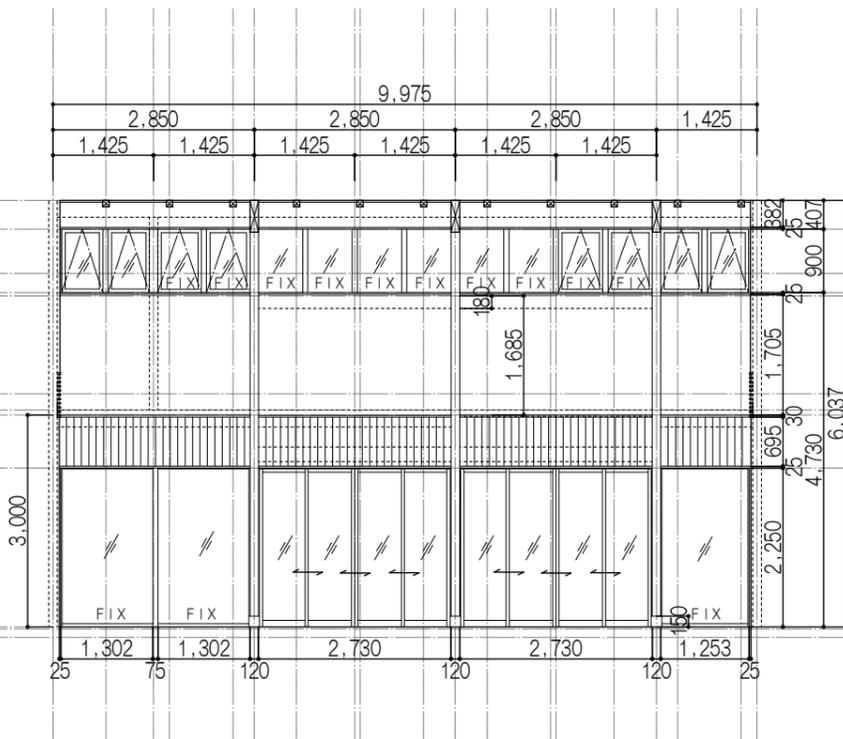
内装仕上	
室名	見学スペース
床	能登ひば t30×w150 (本実加工) 張り、WP2回塗り
巾木	木製堅木H100 WP2回塗り
壁	珪藻土塗り t10
廻縁	杉板 t12×w120 (本実加工) 羽目板張り WP2回塗り
天井	小屋組表しの上、WP2回塗り
備考	

内装仕上	
室名	ペレット製造ゾーン
床	土間コンクリート t150直押え カッター目地切り共 防塵塗装
巾木	木製堅木H100 WP2回塗り
壁	杉板 t12×w120 (本実加工) 羽目板張り WP2回塗り
廻縁	
天井	小屋組表しの上、WP2回塗り
備考	

見学スペース
ペレット製造ゾーン

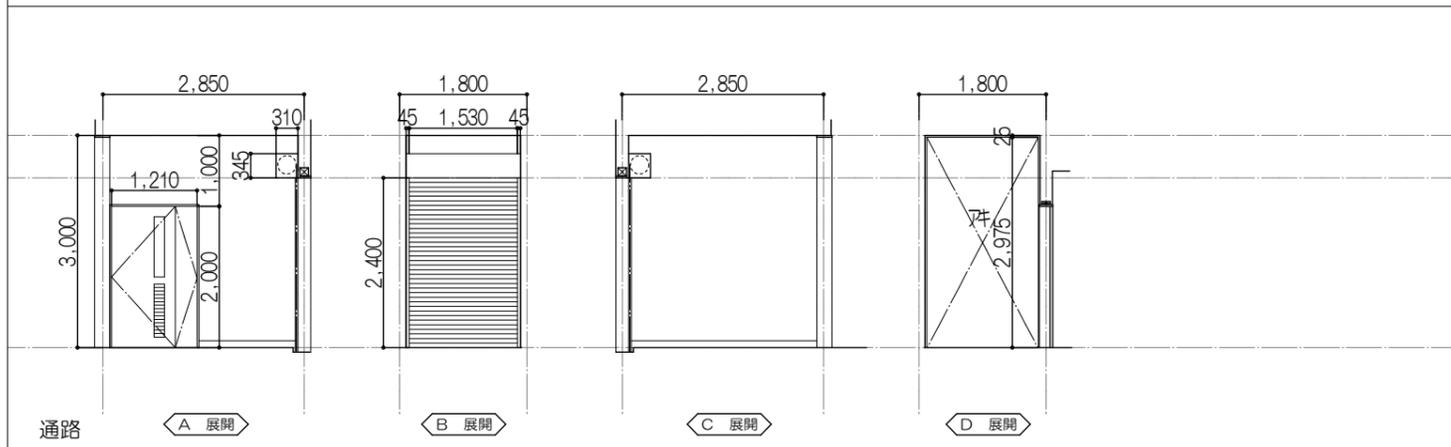
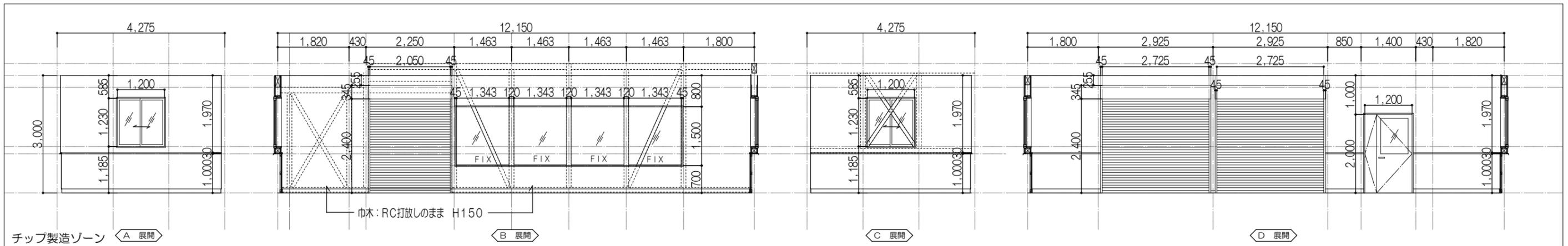
A 展開

B 展開



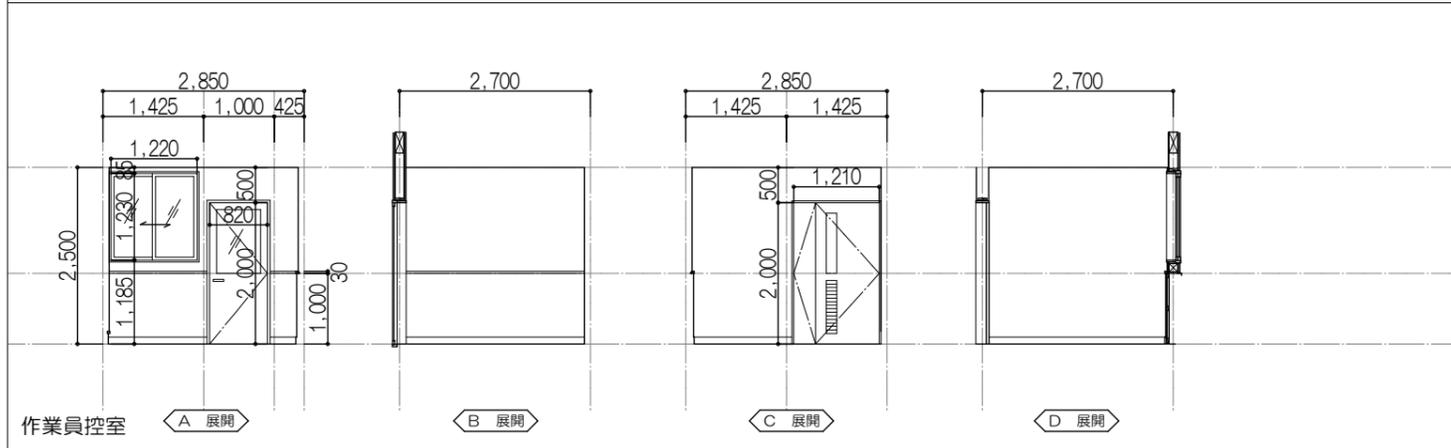
C 展開

D 展開



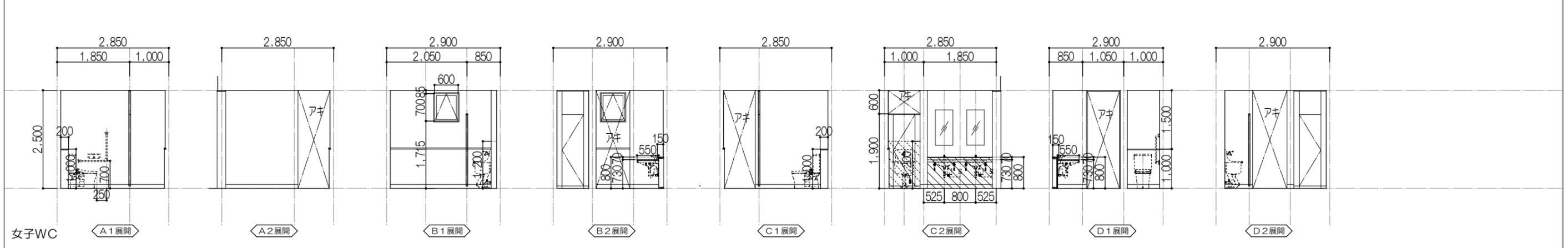
内装仕上	
室名	通路
床	土間コンクリート t150直押え カッター目地切り共 防塵塗装
巾木	堅木 H100、WP2回塗り
壁	杉板 t12×w120 (本実加工) 羽目板張り WP2回塗り
廻縁	
天井	木毛セメント板 t25目透かし張り、EP塗り 木製下地
備考	

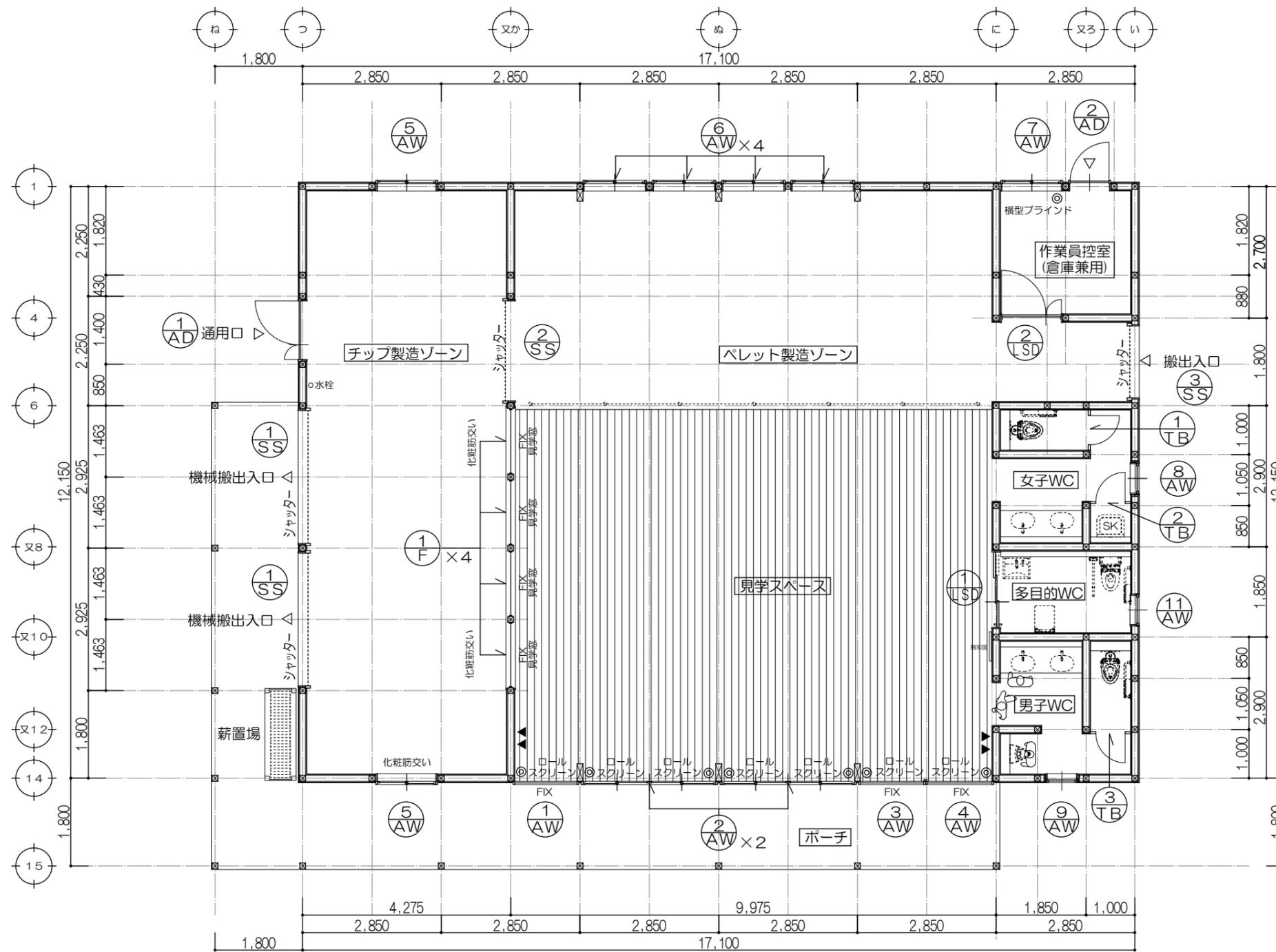
内装仕上	
室名	チップ製造ゾーン
床	土間コンクリート t150直押え カッター目地切り共 防塵塗装
巾木	堅木 H100、WP2回塗り
壁	杉板 t12×w120 (本実加工) 羽目板張り WP2回塗り
廻縁	
天井	木毛セメント板 t25目透かし張り、EP塗り 木製下地
備考	



内装仕上	
室名	作業員控室
床	土間コンクリート t150直押え カッター目地切り共 防塵塗装
巾木	堅木 H100、WP2回塗り
壁	杉板 t12×w120 (本実加工) 羽目板張り WP2回塗り 見切り：木製、杉、WP2回塗り
廻縁	
天井	木毛セメント板 t25目透かし張り、EP塗り 木製下地
備考	

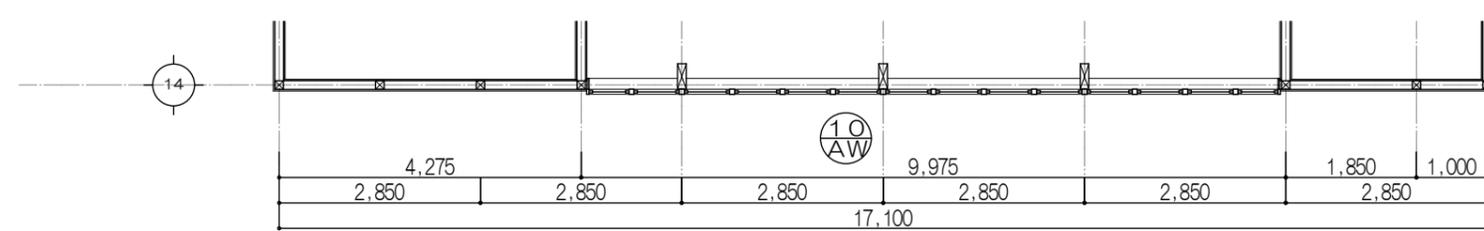
内装仕上	
室名	女子WC
床	磁器質タイル貼り
巾木	ビニル製H100
壁	化粧ケイカル板 t6 シーリングボード t12.5 (斜線部は構造用合板 t12 t) 木製下地 見切り：木製、杉 WP2回塗り
廻縁	塩ビ製
天井	岩綿吸音板 t12目透かし貼り PB t9.5、木製下地
備考	ライニング譜板：ポストフォーム t20





凡例及び特記事項

- AW アルミ製建具：ビル用サッシ
- ▲ 高窓オペレーター操作装置位置 (FL+1, 200)
- SS スチール製シャッター
- LSD 軽量スチール製建具
- TB トイレブース
- F FIX窓 (木製押縁)
- ◎ ブラインド操作位置

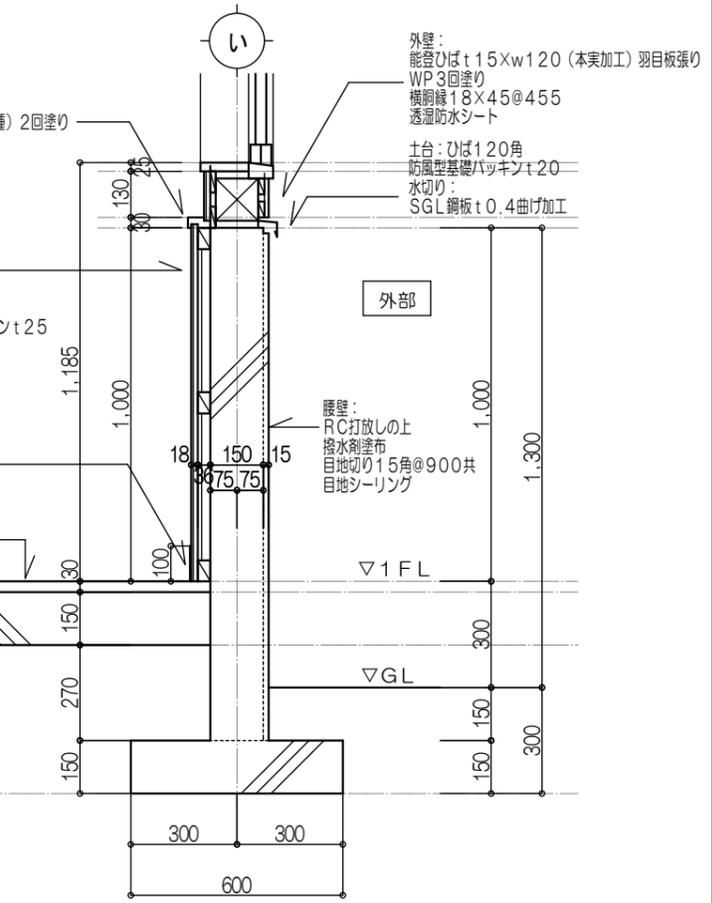
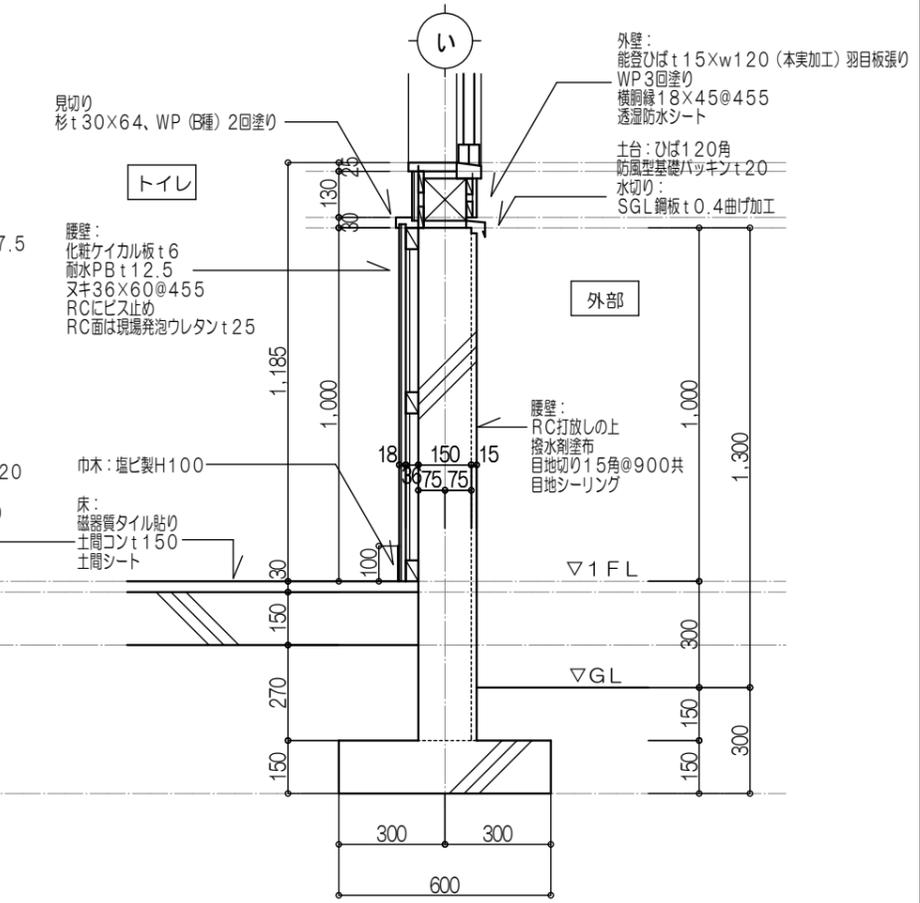
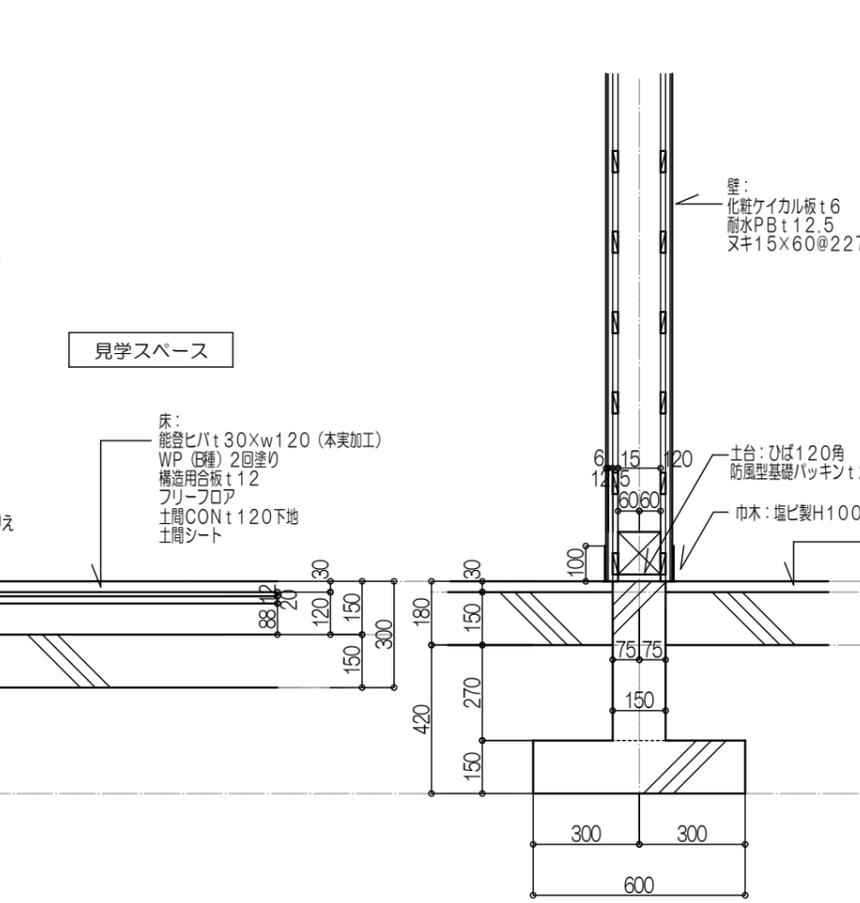
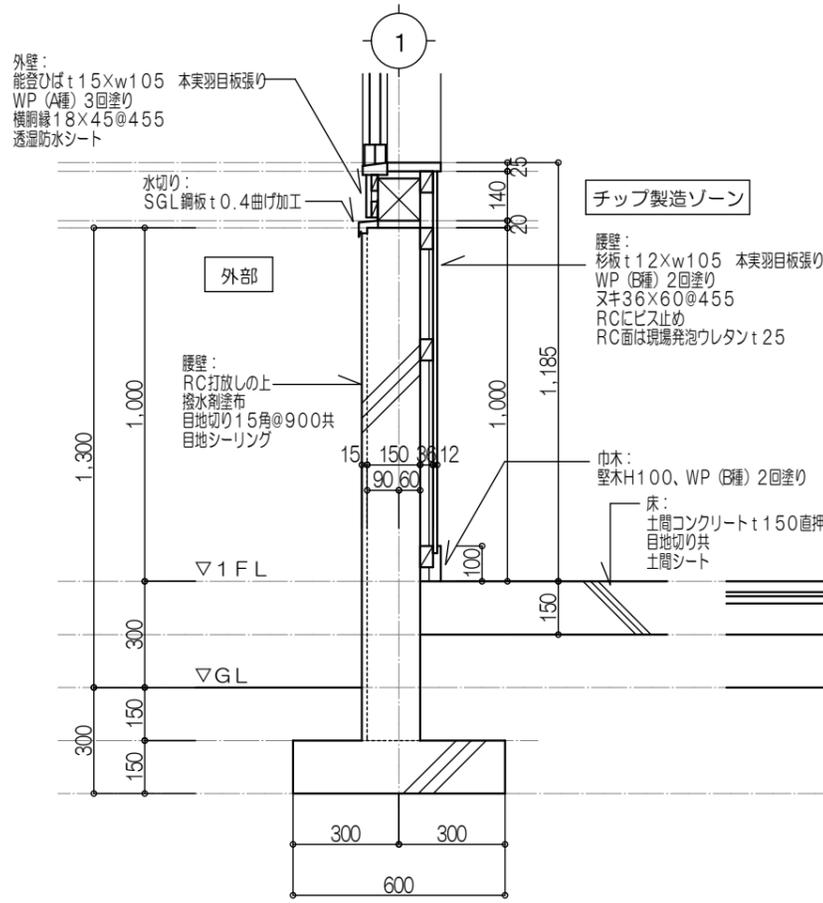
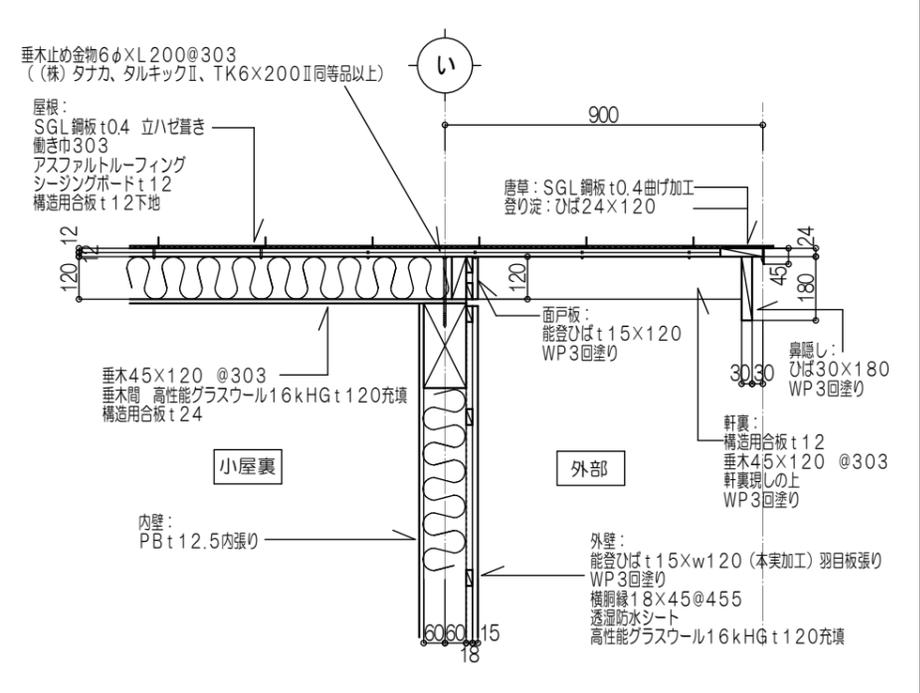
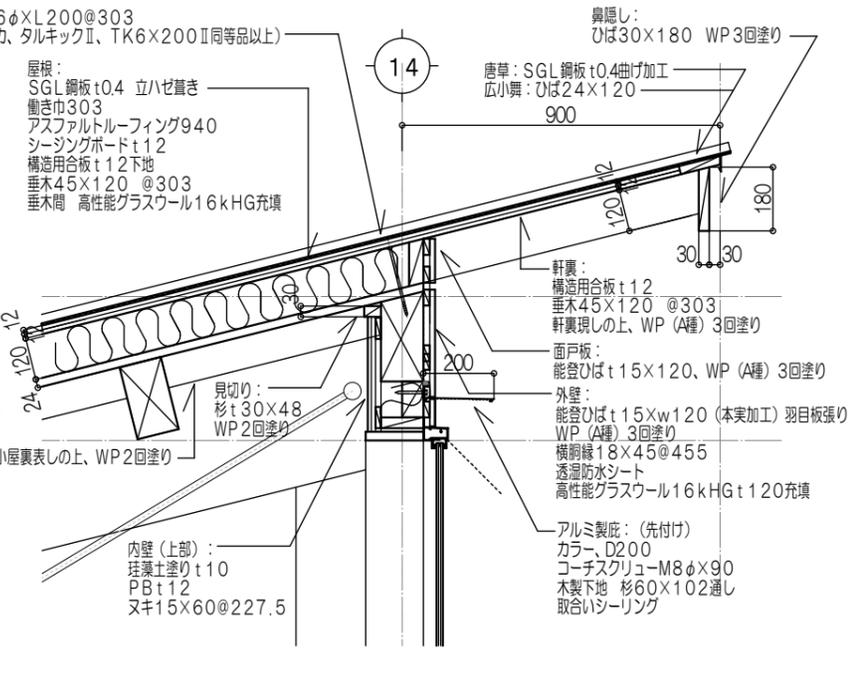
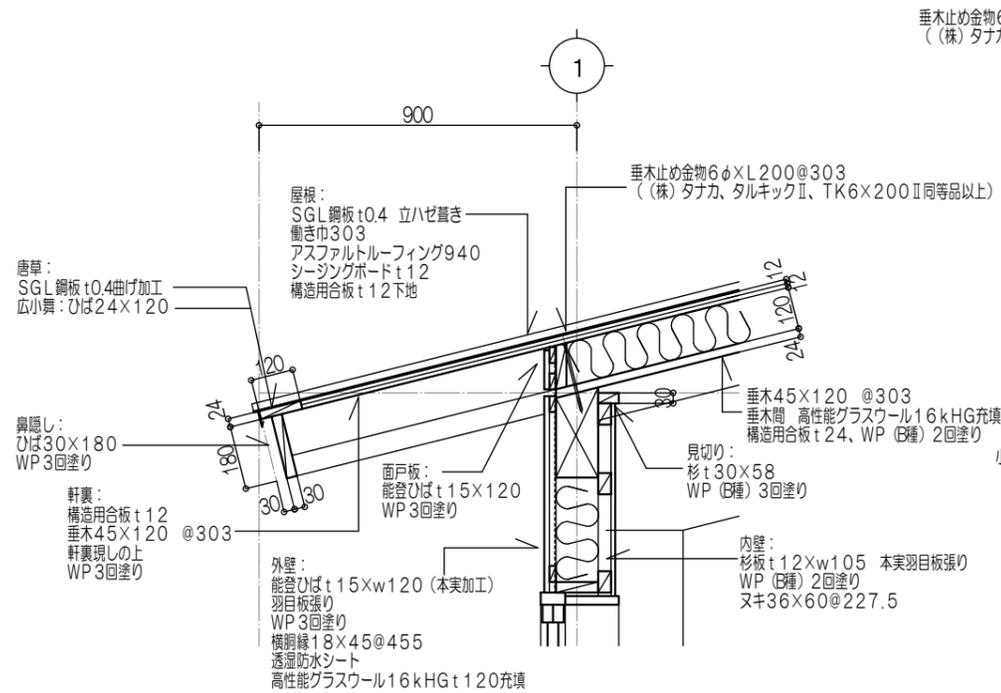


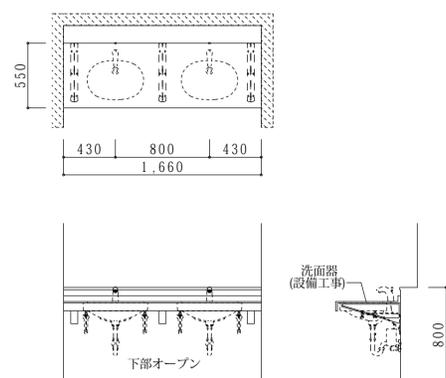
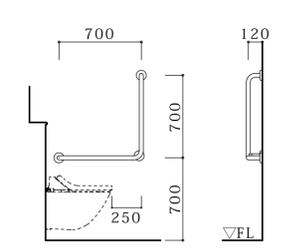
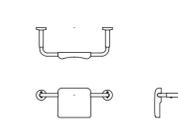
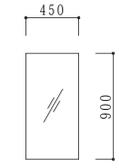
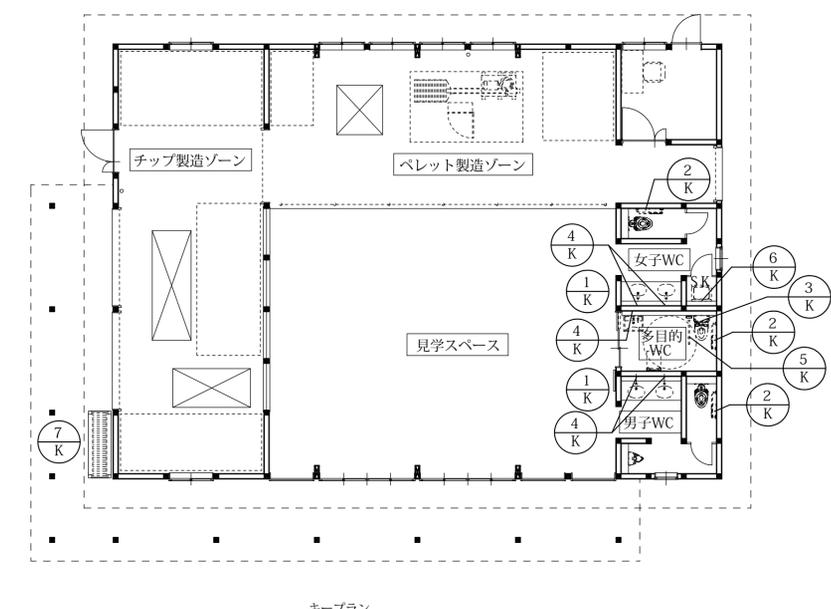
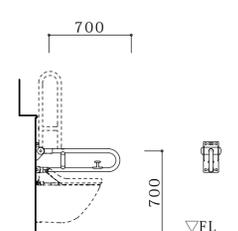
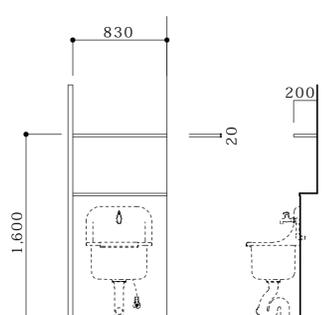
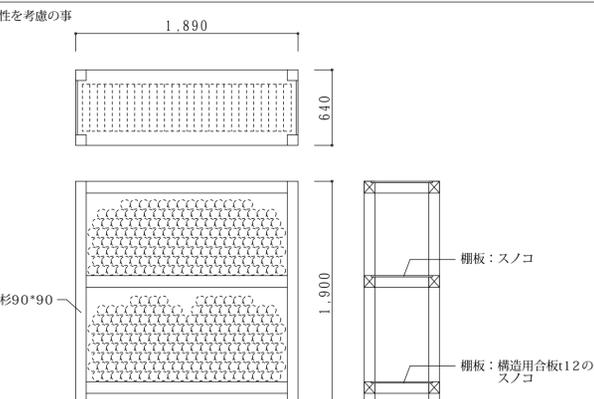
吹き抜け上部

■表示略号				■枠の標準形状 (特記なき限り○印の形状を採用する)				■断厚寸法 (断厚は下記強度基準及び召合せ部の形状の他、金物の納まり等を考慮して決定するものとする)										
AD	アルミ製扉	SG	銅製ガラリ	P	透明フロートガラス	種類	見込みの大きさによる種類			形状による種類			SD 及び SSD	40mm (断厚種≦2.5m)	WD	36mm (H=1800mm未満、扉一枚の幅=900mm以下)		
AG	アルミ製窓	SSG	ステンレス製ガラリ	F	平板ガラス		大枠	小枠	普通枠	FB枠	特殊枠	隠し枠		45mm (断厚種≦3.0m)	LD	40mm (H=2400mm未満、扉一枚の幅=900mm以下)		
AW	アルミ製ガラリ	WG	木製ガラリ	PW	網入型フロートガラス		平面							50mm (断厚種≦5.0m)	H	36mm		
ACW	アルミカーテンウォール	SS	銅製シャッター	FW	網入型フロートガラス		図							60mm (断厚種>5.0m)	P	24mm (戸芯すまは30mm)		
ATP	アルミトップライト	SSH	ステンレス製シャッター	T	強化ガラス									*耐火層は45mm以上(遮り扉付は55mm以上)とする				
SD	銅製扉 (1.6mm以上)	FS	シート(不燃布)製シャッター	DS	倍強度ガラス		■番摺の標準形状 (特記なき限り○印の形状を採用する)				■標準事項							
SW	銅製窓	GSB	ガラス製固定防煙垂れ壁	HR	熱線反射フロートガラス		種類	室内一般扉			AT/SAT扉			<ul style="list-style-type: none"> ・ 建具は詳細部の施工図作成の上、設計者の承認を受けること。 ・ 建具金物は見本品提出の上、設計者の承認を受けること。 ・ ドアチェックはバラレル型とする。室外側にドアチェックが取り付けられる場合は監理者と協議の上決定する。 ・ ドアチェックはストッパー付きを原則とする。但し防火区画面上の防火扉はストッパー無しとする。 ・ 壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とする。 ・ 鉄部の仕上げは特記以外は内部をSOP、外部に面するものをフッ素樹脂塗装とする。 ・ 特記なき限り、銅製扉の番摺はSUS304 (※t=2.0mm、t=1.5mm) 製とし、内部をモルタル充填とする。 ・ アルミサッシの附属金物は原則としてサッシと同色同仕上とする。 ・ 窓開口部には原則として結露受(サッシと同材、同仕上)を取り付けること。 ・ 排煙用オペレーター装置はワンタッチ式とする。 ・ オペレーター装置の配線、配管及びパイパーは室内から見えないうまめ。 ・ 排煙室の自動開放装置(クレセント及び操作レバー類を含む)の位置は床面から800mm≦H≦1500mmとする。 ・ 排煙突出し窓及び排煙用ATPの開き角度は45°以上とする。 → 防火扉及び延焼範囲内の扉/壁に付くDG/ガラリはヒューズダンパー付きとする。 ・ 特記なき限り銅製建具のガラリはt=1.6とする。 ・ 外部に面するガラリはSUS製防鳥金網ネット(≦16×10mm程度)を取り付ける。 ・ ダクト接続のガラリには四方枠(亜鉛メッキ鋼板 t2.3加工、外部に面する場合はフッ素樹脂塗装、室内の場合はSOP)を取り付け、四方枠廻りを断熱材吹き付けとする。 → シャッターは全て安全装置付きとする。 → シャッター及び昇降式の煙垂壁は特記以外電動昇降装置付きとする。 → 電動シャッターは手動併用、防火/防煙/防火防煙シャッターは手動開放装置付きとする。 → 避難口となる風除室の自動扉は非常時手動開放可能な機構とする。 ・ 施設は原則として片面シリンドラー 片面サムターンとする。 ・ キーは全て耐ヒッキング仕様(耐) 全国防協会連合会CP協定品とする。 → 熱線/熱反射/ヒューズ/耐火強化等のガラスは実サンプルにて色味の確認を行い、設計者の承認を得るものとする。 → 網入りガラスの小口は、トップライトの場合はパルテテープ貼り、その他の場合は防錆塗装塗りとする。 → 両開扉及び親子開扉の防火扉は補位調整機付とする。 				
SSD	ステンレス製扉	FSB	シート製巻き込み防煙垂れ壁	HAP	熱線吸収フロートガラス		形状	一般	○床に高低差のある場合	○一般	○床に高低差のある場合	○扉下に気密/遮音材を付ける場合 (SAT扉のみ)						
SSW	ステンレス製窓	S	銅製三方枠(扉なし)開口部	HAR	熱線吸収反射ガラス		■召合せ部の形状 (特記なき限り○印の形状を採用する)											
SWD	銅製枠木製扉	SLW	スライディングウォール	LowE	Low-eガラス		扉種類	一般扉	収納型防火扉	自由開扉								
SWW	銅製枠木製障子窓	SF	銅製枠	GB	ガラスブロック	同面納まり	定規納まり	同面納まり	定規納まり									
LSD	銅製軽扉 (0.8mm以上)	SPT	銅製パーティション	耐熱	耐熱強化ガラス (特)	同面納まり	定規納まり	同面納まり	定規納まり									
OHD	オーバーヘッドドア	CSS	シートシャッター	耐熱GB	耐熱ガラスブロック (特)	同面納まり	定規納まり	同面納まり	定規納まり									
SHD	銅製ハンガードア	TB	トイレブース		(特)：特定防火設備用認定品	同面納まり	定規納まり	同面納まり	定規納まり									
H	ふすま				金物	同面納まり	定規納まり	同面納まり	定規納まり									
P	紙障子				PH	ピボットヒンジ	同面納まり	定規納まり	同面納まり									
WD	木製扉				DC	ドアクローザー	同面納まり	定規納まり	同面納まり									
WW	木製窓				OPR	オペレーター	同面納まり	定規納まり	同面納まり									
■建具の性能と記号				■建具記号														
<ul style="list-style-type: none"> 特(常閉) 特定防火設備 (常時閉鎖式) 特(常開) 特定防火設備 (随時閉鎖式、煙感知器連動) 特(常閉) 防火設備 (常時閉鎖式) 特(常開) 防火設備 (随時閉鎖式、煙感知器連動) <令112条第14項第一号・二号適合> 				建具の種類記号 # 建具の防火性能記号 整理番号														
■ガラリの形状																		
種類: ドアガラリ, ドアガラリ(スリット型), 固定ガラリ, FB化粧ガラリ, 外部に面するガラリ				形状: 開口率: 30-40%, 開口率: 90-100%, 開口率: 40-60%, 開口率: 30%, 開口率: 30-40%				扉種類: A/T扉, SAT扉				形状: 厚さ4.5mm以上, 厚さ6.5mm以上, 厚さ5.5mm以上, 厚さ6.0mm以上						

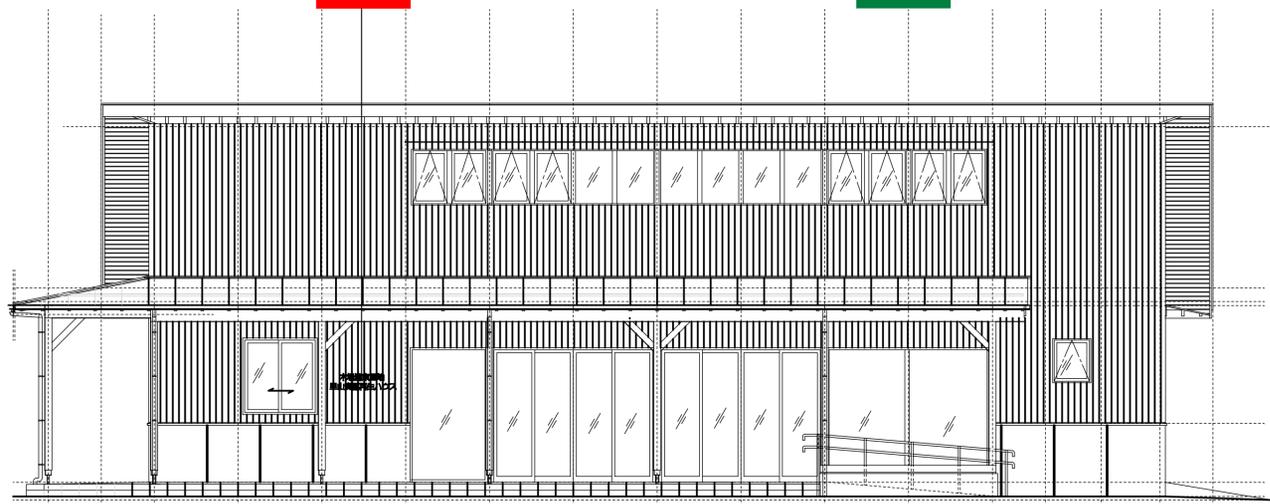
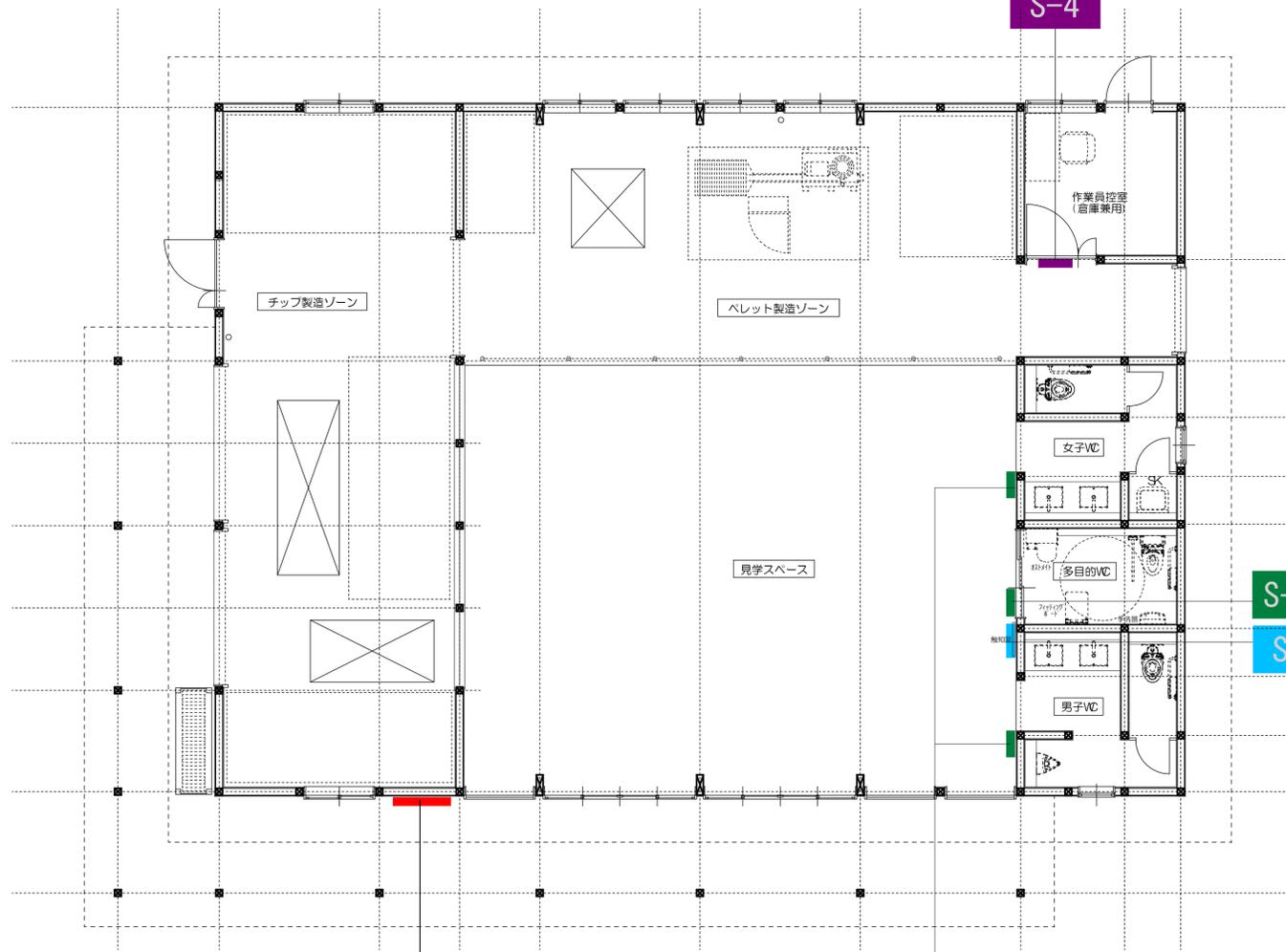
符号・数量	① AW × 1	② AW × 2	③ AW × 1 ④ AW × 1	⑤ AW × 2	⑥ AW × 4	⑦ AW × 1	⑧ AW × 1	⑨ AW × 1
図								
場所・防火仕様	見学スペース	見学スペース	見学スペース	チップ製造ゾーン	ペレット製造ゾーン	作業員控室	WC (女)	WC (男)
材種・見込	アルミ / 70 外付	アルミ / 70 外付	アルミ / 70 外付	アルミ / 70 半外付	アルミ / 70 半外付	アルミ / 70 半外付	アルミ / 70 半外付	アルミ / 70 半外付
勝手	FIX窓	4枚引違いテラス窓	FIX窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓	引き出し窓	引き出し窓
ガラス	ペアガラス (FL4+A12+FL4)	ペアガラス (FL4+A12+FL4)	ペアガラス (FL4+A12+FL4)	ペアガラス (FL4+A12+FL4)	ペアガラス (FL4+A12+FL4)	ペアガラス (FL4+A12+FL4)	ペアガラス (F4+A12+FL4)	ペアガラス (F4+A12+FL4)
金物	アルミ製アングル、取付金物一式、結露受け、外押縁、衝突防止シール	アルミ製アングル、取付金物一式、クレセント、大型引手ハンドル、SUS製レール、衝突防止シール	アルミ製アングル、取付金物一式、結露受け、外押縁、連窓方立、目板、衝突防止シール	アルミ製アングル、取付金物一式、クレセント	アルミ製アングル、取付金物一式、クレセント	アルミ製アングル、取付金物一式、クレセント	アルミ製アングル、取付金物一式、カムラッチハンドル	アルミ製アングル、取付金物一式、カムラッチハンドル
備考	ロールスクリーン (チェーン式)	耐震SUS製グレーチング、ロールスクリーン (チェーン式)	ロールスクリーン (チェーン式)	可動網戸	可動網戸	可動網戸	片開き網戸 (マグネットキャッチ、丁番)	片開き網戸 (マグネットキャッチ、丁番)

符号・数量	⑩ AW × 1	⑪ AW × 1	① AD × 1	② AD × 1
図				
	△サッシジョイントを示す			
場所・防火仕様	見学スペース 吹抜部	WC (多目的)	チップ製造ゾーン	作業員控室
材種・見込	アルミ / 70 外付	アルミ / 70 半外付	アルミ / 70 半外付	アルミ / 70 半外付
勝手	はり出し排煙窓+FIX窓	FIX窓	親子開き戸	片開き戸
ガラス	ペアガラス (FL4+A12+FL4)	ペアガラス (F4+A12+FL4)	ペアガラス (FL4+A12+FL4)	ペアガラス (FL4+A12+FL4)
金物	アルミ製アングル、取付金物一式、結露受け、連窓目板、排煙用オペレーター装置、脱着網戸	アルミ製アングル、取付金物一式、結露受け	取付金物一式、レバーハンドル、アルミ製三方枠、ドアチェック	取付金物一式、レバーハンドル、アルミ製三方枠
備考	オペレーター装置設置位置FL+1,200		外シリンドー錠、内サムターン、フランス落し、SUS製丁番	外シリンドー錠、内サムターン、フランス落し、SUS製丁番
符号・数量	① SS × 2	② SS × 1	③ SS × 1	① F × 1
図				
場所・防火仕様	チップ製造ゾーン	チップ製造ゾーン	通路 (搬出入口)	見学スペース
材種・見込	高耐食カラー鋼板 t0.8 内付け	高耐食カラー鋼板 t0.8 内付け	高耐食カラー鋼板 t0.8 内付け	窓額縁 20x120、木製押縁 20x20 WP2回塗り サラビス留め
勝手	手動式軽量シャッター	手動式軽量シャッター	手動式軽量シャッター	FIX窓
ガラス				透明 強化ガラス t5、飛散防止フィルム
金物	高耐食カラー鋼板製スラット・角型ケース、アルミ製座板・ガイドレール	高耐食カラー鋼板製スラット・角型ケース、アルミ製座板・ガイドレール	高耐食カラー鋼板製スラット・角型ケース、アルミ製座板・ガイドレール	
備考	鋼板製ブラケット、手掛け、外シリンドー錠、フック棒	鋼板製ブラケット、手掛け、フック棒	鋼板製ブラケット、手掛け、外シリンドー錠、フック棒	
符号・数量	① LSD × 1	② LSD × 1	① TB × 1	② TB × 1
図				
場所・防火仕様	多目的WC	作業員控室	WC (女)	WC (男)
材種・見込	表面処理鋼板 t1.6 焼付塗装 (指定色) / 32	表面処理鋼板 t1.6 焼付塗装 (指定色) / 40	高圧メラミン樹脂化粧板 (芯材: ペーパーコア) / 40	高圧メラミン樹脂化粧板 (芯材: ペーパーコア) / 40
勝手	2連動ハンガー片引き戸 戸袋パネル片面オープン枠タイプ	親子開き戸	外開き戸	外開き戸
ガラス	型ガラス t4.0	型ガラス t4.0		
金物	駆動取付金物一式、SUS製引き棒 (鏡面、25φ、L450)	取付金物一式、レバーハンドル、三方枠 焼付塗装 (指定色)	SUS製笠木、SUS製巾木、表示付きスライドロック、帽子掛け	SUS製笠木、SUS製巾木、表示付きスライドロック
備考	内大型サムターン (非常解錠表示付)、三方枠 焼付塗装 (指定色)	外シリンドー錠、内サムターン、フランス落し、SUS製丁番	センターヒンジ、エッジ部分は木目調シート貼り、外開き戸当り	センターヒンジ、エッジ部分は木目調シート貼り、外開き戸当り
	アルミ製片山ガラー (焼付塗装、指定色)	アルミ製片山ガラー (焼付塗装、指定色)		帽子掛け、センターヒンジ、ウッドエッジ、外開き戸当り



記号	K-1 洗面カウンター S=1:30	K-2 L型手摺 S=1:30	K-3 背もたれ S=1:30	K-4 化粧鏡 S=1:30
形状寸法	 <p>洗面器(設備工事) 下部オープン</p>			
数量	2	3	1	5 (男子WC:2、女子WC:2、多目的WC:1)
位置	男子WC、女子WC	男子WC、女子WC、多目的WC	多目的WC	男子WC、女子WC、多目的WC
材種	マーブライトカウンター	心材-SUS304 外形φ34 樹脂被覆品	背もたれ:発泡ウレタン フレーム:塗装仕上げ鋼管	耐食鏡 t5.0
金物	専用ブラケット、付属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	SUS4方フレーム
硝子				
塗装				
記号	K-5 跳ね上げ手摺 S=1:30	K-6 棚板 S=1:30	 <p>チップ製造ゾーン ペレット製造ゾーン 女子WC 多目的WC 男子WC 見学スペース キープラン</p>	
形状寸法				
数量	1	1		
位置	多目的WC	S Kブース内		
材種	心材-SUS304 外形φ34 樹脂被覆品	メラミン化粧板フラッシュ		
金物	附属金物一式	棚板固定金物		
硝子				
塗装				
記号	K-7 薪置場			
形状寸法	<p>※通気性を考慮の事</p>  <p>杉90*90 棚板:スノコ 棚板:構造用合板t12の上スノコ</p>			
数量	1			
位置	外部			
材種	杉、構造用合板t12			
金物				
硝子				
塗装	木材保護塗料2回塗り			

■プロット図

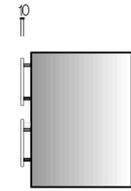


S-1	施設名称サイン	1
S-2a	トイレサイン(壁面)	2
S-2b	室名サイン(壁面)	1
S-3	トイレ案内サイン	1
S-4	室名サイン	1

S-1	施設名称サイン	S-1/30	数量1基
-----	---------	--------	------

仕様: DIO S.S.H.U 箱文字加工
※名称未定

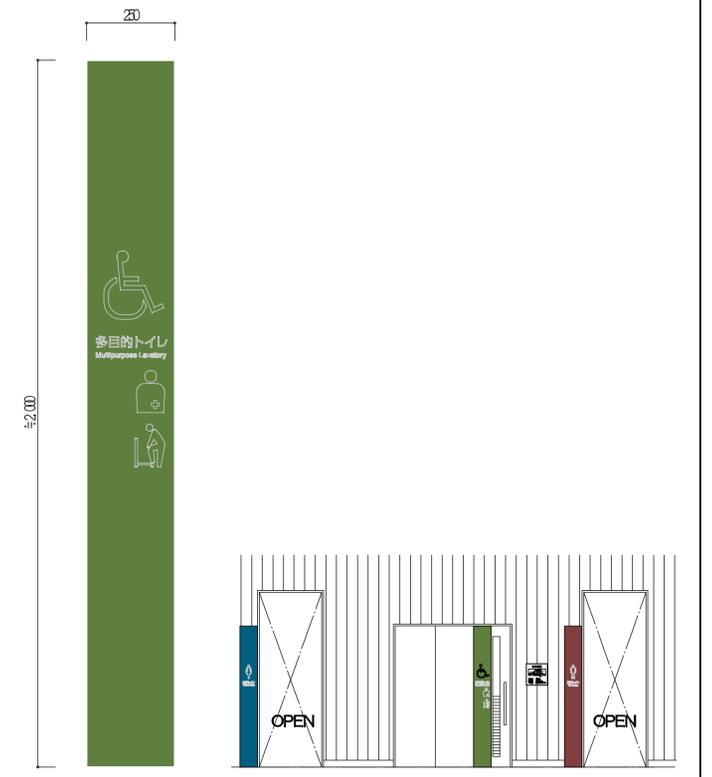
木場潟東園地
里山資源再生ハウス



S-2a	トイレサイン(壁面)	S-1/20	数量2基	S-2b	室名サイン(壁面)	S-1/20	数量1基
------	------------	--------	------	------	-----------	--------	------

仕様: t3のアルミ複合板+インクジェットプリント貼

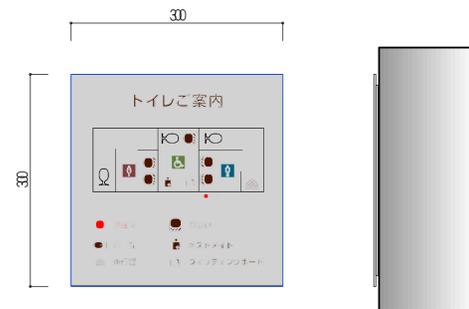
仕様: インクジェットプリント貼



S-3	トイレ案内サイン	S-1/10	数量1基	S-4	室名サイン	S-1/2	数量1基
-----	----------	--------	------	-----	-------	-------	------

仕様: t3のアルミ複合板+インクジェットプリント貼
+触知図
※MRは板の意匠です。

仕様: 塩ビシート切文字貼



作業員控室



木場町

7.400

 山岸建築設計事務所 Yamagishi Architects + Engineers	設計年月日	2021.03	工事名	木場潟公園東園地里山資源再生ハウス(仮称)建設工事(建設)	図番	A-29
	一級建築士事務所 一級建築士第336429号 山岸敬広	設計	製図	訂正	番番 2034 標題 全体配置図	縮尺